

土名勝畱會

直隸

六

ル 5
987
6 止



直
糸
糸

水越后高田
久
油
堅
口
平



唐土名勝圖會卷之六目錄

天津府	慶雲縣	正定府	順德府	廣平府
天津縣	滄州	正定縣	邢臺縣	鉅鹿縣
青縣	藁城縣	獲鹿縣	沙河縣	永年縣
蘇州	平山縣	靈壽縣	唐山縣	邯鄲縣
蘇州	井陘縣	藁城縣	南和縣	成安縣
南皮縣	阜平縣	新樂縣	內丘縣	肥鄉縣
鹽山縣	元氏縣	晉州	平鄉縣	威縣
	靈壽縣		任縣	雞澤縣
	靈壽縣		廣宗縣	清河縣
	靈壽縣		廣宗縣	磁州

大名府	元城縣	東明縣	宣化府	宣化縣	西寧縣	遵化州	易州	冀州	衡水縣	趙州	寧晉縣	深州	定州
大名縣	長垣縣	南樂縣	萬全縣	蔚州	蔚州	豐潤縣	廣昌縣	新河縣	隆平縣	高邑縣	臨城縣	武強縣	曲陽縣
魏縣	清豐縣	龍門縣	延慶州	保定州	保定州	保定州	保定州	保定州	保定州	保定州	保定州	保定州	保定州
保定州	保定州	保定州	保定州	保定州	保定州	保定州	保定州	保定州	保定州	保定州	保定州	保定州	保定州

唐土名勝圖會卷之六

故菴葭堂木世肅先生遺意

岡田玉山尚友
岡 熊岳文暉
大原東野民聲

全 畫

天津府

禹貢冀州之域天津之地春秋之東陽界也今之河間府城之東北三百五十里也明代河間府之轄海縣之內屬一鎮城二邑築天津巡檢之設重兵之宿也此身也

一縣六あり曰滄州曰天津縣曰薊縣曰靜海縣曰南皮縣曰鹽山縣曰慶雲縣

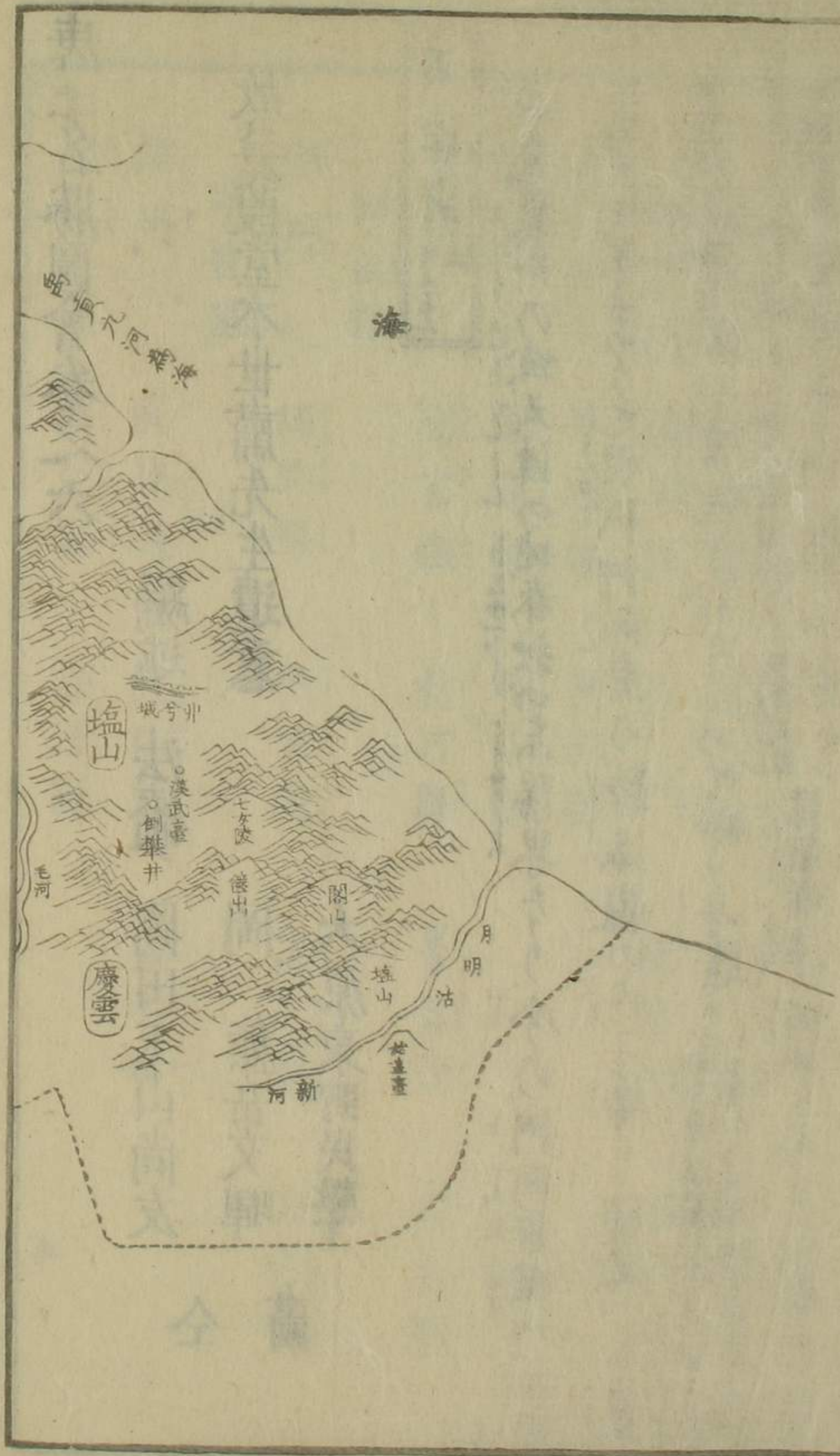
以上の州縣明代より河間府に屬せり從明より興海縣をこぼして天津府より東の方山東省の海南



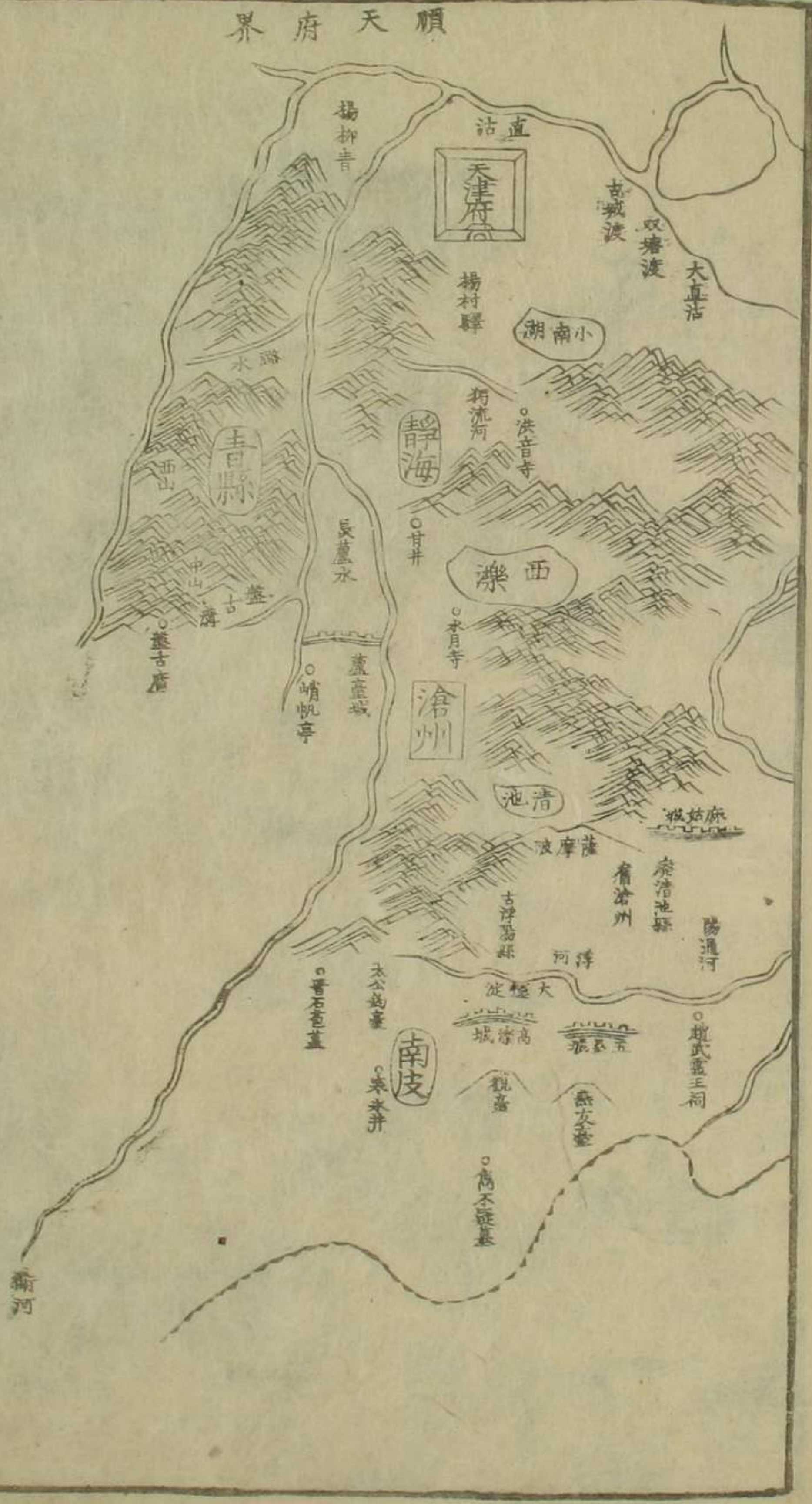
天津府總圖

天津府

東西三百十里
南北二百十里餘



順天府界



河間府界

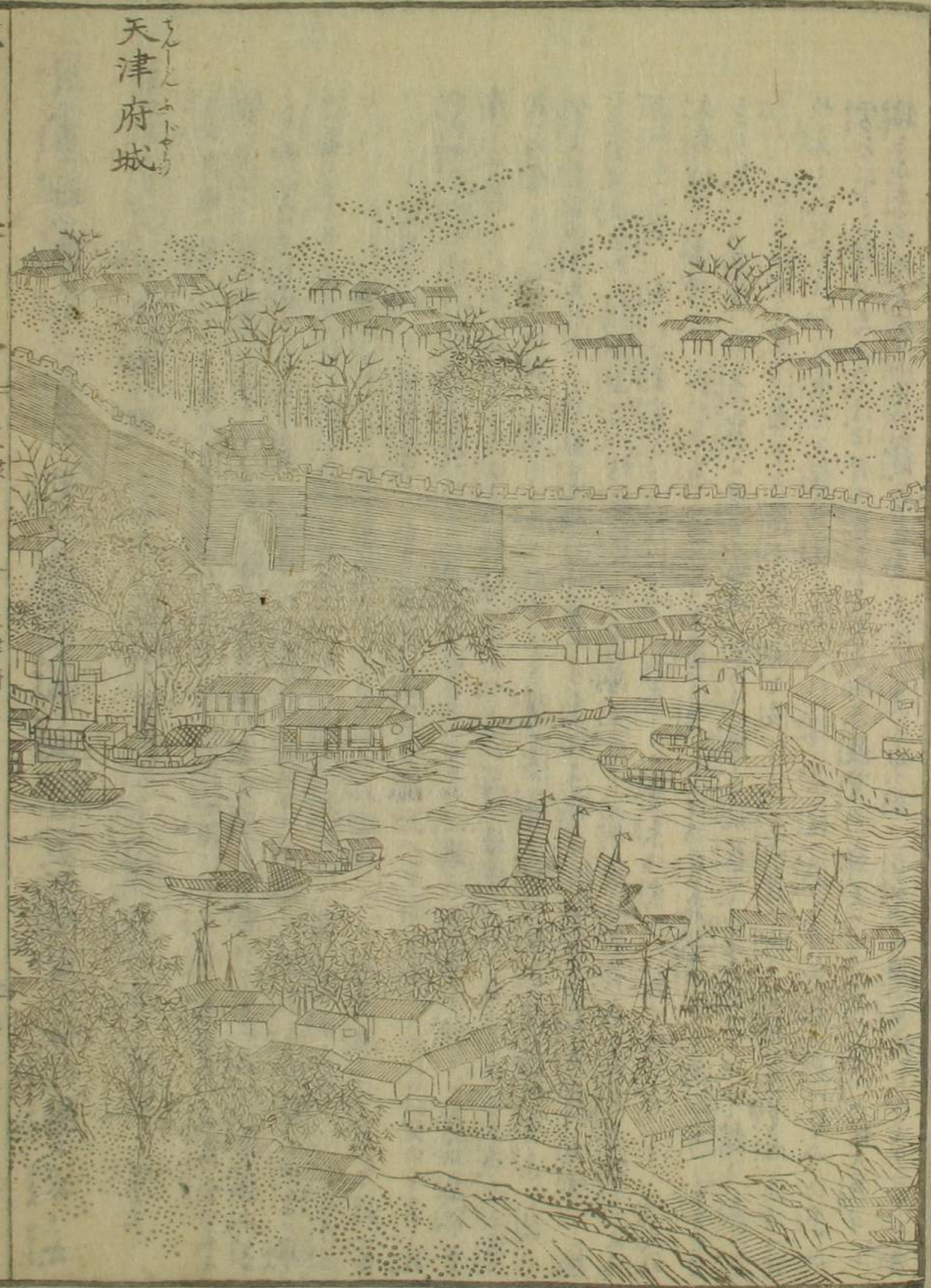
直隸

天津府



天津

天津府城

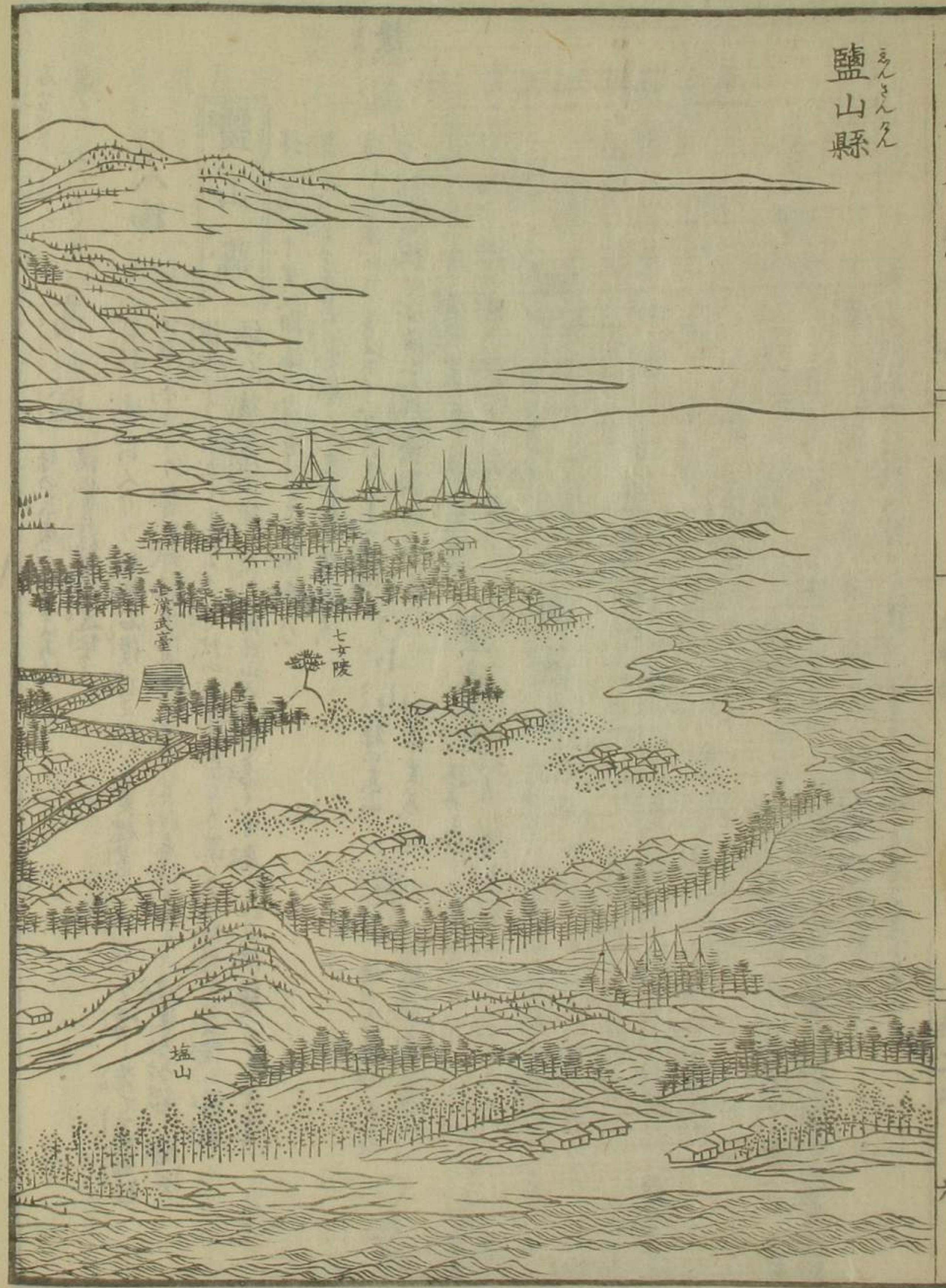


直隸

天津府

卷之六

鹽山縣 えんざんけん



直隸

天津府

卷之六

其叙を賣しつて牛と羊を賣ひ刀と賣りて懐と賣しめ民の董と教るやふ小民をうりて
 郡中を盜賊起りて賊訟絶つて止息ぬ
 馬不羸ハ渤海の人なり春秋を治る郡の文學も進退も小民を以漢の武帝の時徴して
 昔州の刺史も昭帝の時系光の尹を擢らる系降乃人民其威信と故に孫と勿て因後
 と稱して遷るぬ其母平らるとありて即喜ひ否と付則怒るぬ馬不羸不羸を
 かりて屠うて食するは霍光を殺して馬不羸妻せんとは馬不羸固辭して死に臨むやと免る
 糸の親知向の滄州海池の人なり勿して馬不羸あり官河陽節度判官のり付て西山の
 地いよて申すは中外兵のりて獨張知向の上書して農と後刑罰と者及ひ
 士と承るの制をりて馬不羸を異しん仁の附中書門下平章とみ位を在てん位を
 と稱して馬不羸を殺し去りたりとて給方々々を士のりて大節と稱す
 板氏ハ漢の附渤海の人なり其母平らるとありて馬不羸妻方り馬不羸當てり若くは
 て馬不羸其母若と稱して遂に女とて妻に其母送其母馬不羸を恨ひ板氏の曰
 吾人先生の徳と脩め給守るをてのれ馬不羸を中御を稱し心惟命是後人
 絶望とてあつてのりて馬不羸をりて馬不羸を馬不羸と稱し馬不羸と稱して馬不羸を
 とも小のりて馬不羸を稱して馬不羸を稱して馬不羸を稱して馬不羸を稱して馬不羸を稱して
 石州渤海の人なり渤海の諸山を根んで異人遇て道と得たり其分身の樹とあり
 日附十餘あり流るる家皆石州と其の附に列るとの言不る一たり後絶不とあり

正定府

禹貢冀州の域周の并州の地春秋鮮虞國の屬後魏國の附の國

秦ハ拒秦の地ハ漢の朔州山郡を置後文帝の諱と避て常山と改む唐ハ恒
 州を置元和中鎮州と改む五代の梁ハ武順軍と唐ハ成德軍と後梁ハ真
 定府成德軍節度と今ハ河北西路ハ屬ハ元代真定路と改り明ハ真定府と改
 清ハ正定府と改り屬とる州二縣十三百善州曰正定縣曰獲鹿縣曰平山縣
 曰藁城縣曰行唐縣曰靈壽縣曰平山縣曰元氏縣曰贊皇縣曰無極縣曰藁城
 縣曰新樂縣
州代の真定府ハ屬とる州五縣二十七あり後朝ハ其善州と正定府ハ屬とる州五縣
 州深州のハ屬とる州五縣二十七あり後朝ハ其善州と正定府ハ屬とる州五縣
 州深州のハ屬とる州五縣二十七あり後朝ハ其善州と正定府ハ屬とる州五縣
 九府乃東晉州の東界もろり一百十里西ハ山西平
 定州の界もろり一百八十里南ハ朔州界もろり九十五里北ハ定州の界も
 ろり九十里と正定府の治る地界とん

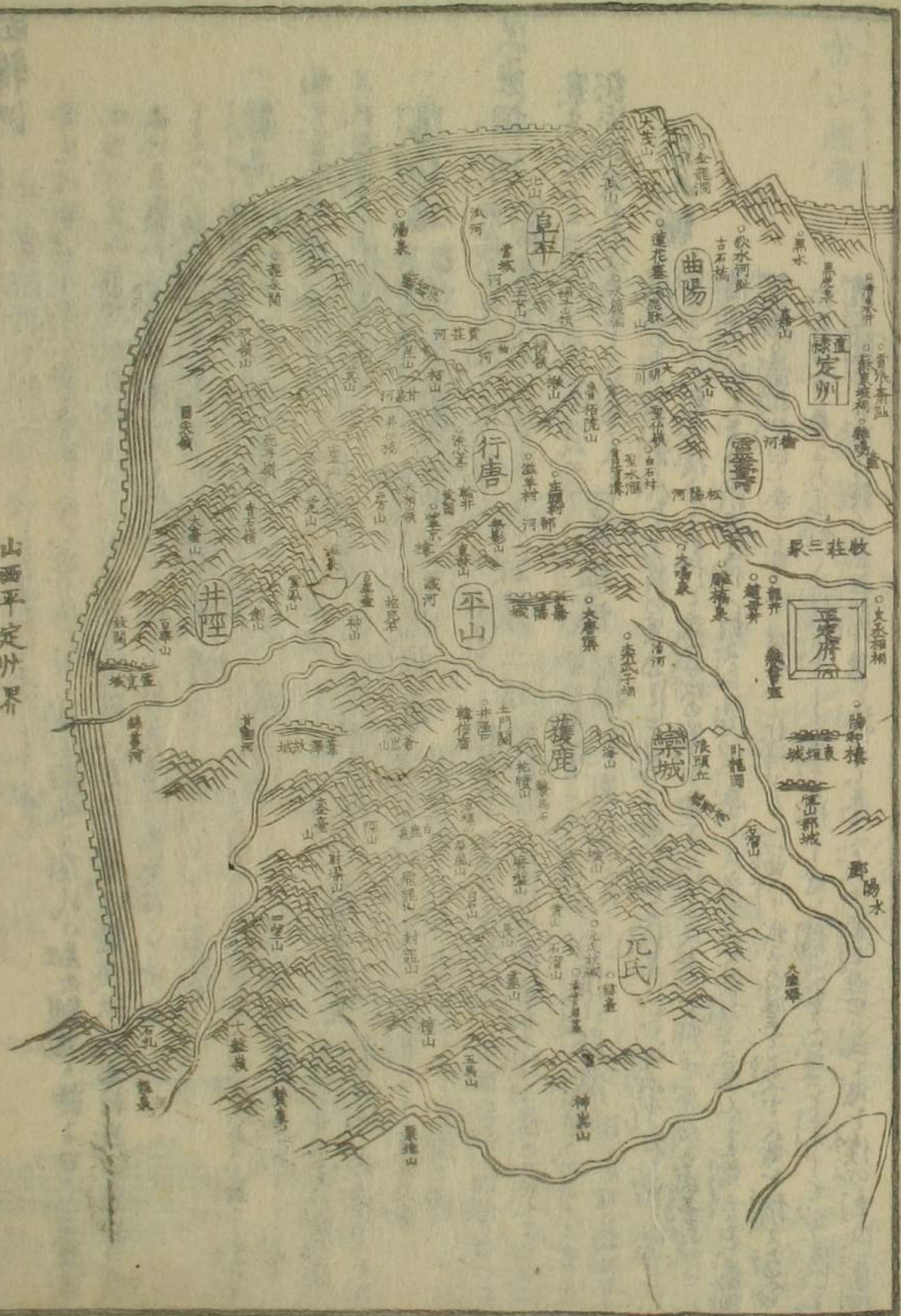
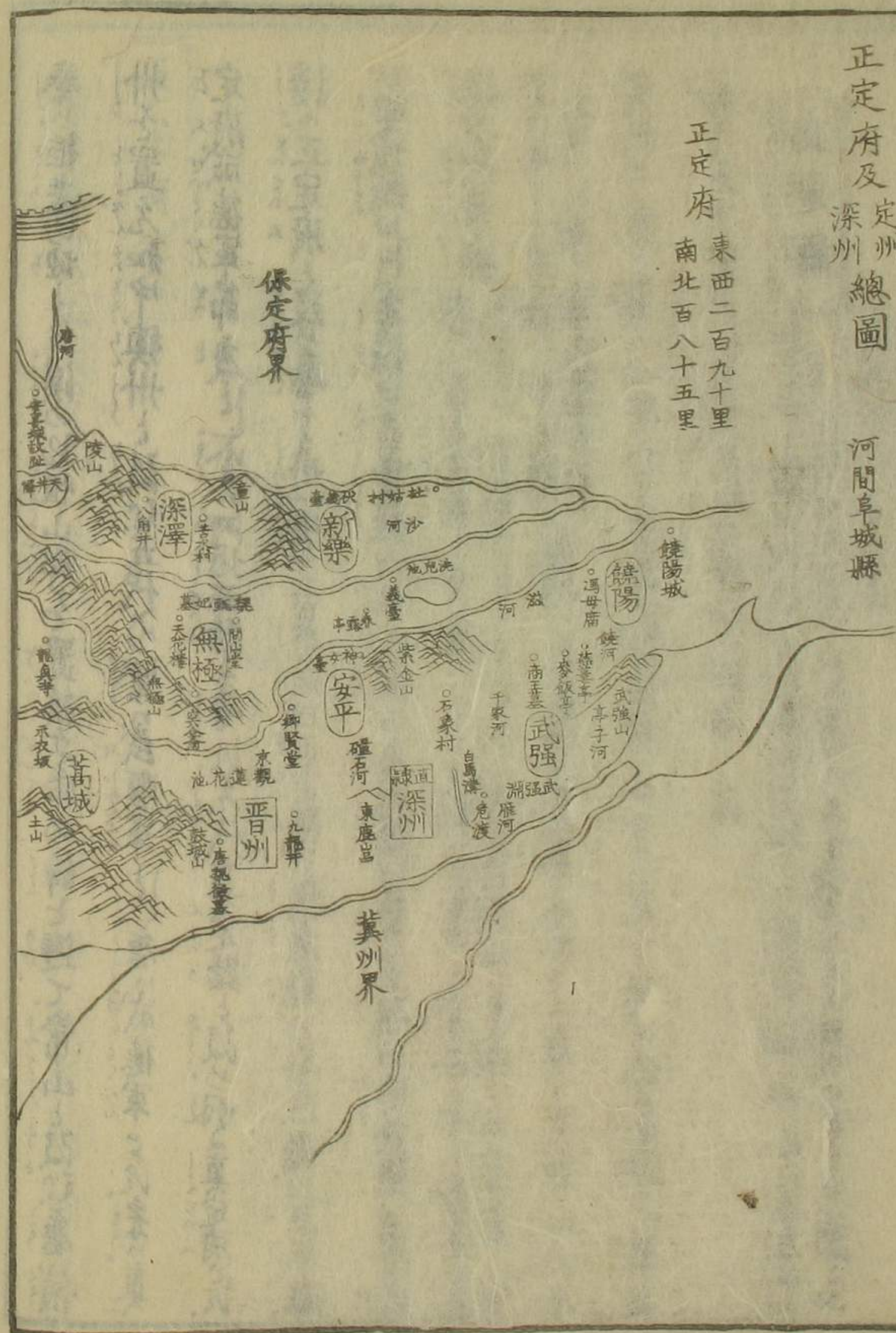
正定縣

府治と此ハ建武國城の東垣の邑漢ハ真定縣と後周朔州郡と此ハ唐ハ恒州中
 國と改り神龍の國後直定と改む宋令の真定府治の真定縣ハ此ハ唐
 以周朝と改り後改て正
 定縣と改り編年十記里

正定府及定州深州總圖

河間阜城縣

正定府 東西二百九十里 南北百八十五里



山西平定州界

直隸

正定府

餘年嘉嘉言信在東以弟於分兵此
生軍城項之去奉尚在奪高便
受澤世受英整一體強遠新降
誰能好自不為奉教為名之六
水象山百新六奉法

元劉用璋信
廟待

卷之六



石邑城 魏王塚
魏王塚 魏王塚の南にあり、大小の墓塚三
あり、魏國の魏王代々の墓なり。
石邑城 魏城の北にあり、史記は魏の武宣王
中山と名して石邑と云ふ、即此と云ふ。

史天澤墓

魏の東三十里あり、天澤、永泰の人を
つとむるを相とす、率して此に赴る。

平陸縣

正定府の西南百五十里あり、漢の代の舊縣なり、魏の魏州と云ふ。
魏の魏州と云ふ、魏の魏州と云ふ、魏の魏州と云ふ。

綿蔓河

魏城の南門の外にあり、源は山西平陸州に發し、魏城と稱して、魏を
代つて綿蔓を名する、魏の魏城と稱して、魏を代つて綿蔓を名する。

甘陶河

魏の東南五十里あり、石邑、洛河、綿蔓水、
魏城と合して平陸と名する、魏城と合して平陸と名する。

神山

魏の東南五十里あり、秦の魏王、
魏城と合して神山と名する、魏城と合して神山と名する。

射塚山

魏の東南七十里あり、魏の魏王、
魏城と合して射塚山と名する、魏城と合して射塚山と名する。

蒼山

魏の東南七十里あり、魏の魏王、
魏城と合して蒼山と名する、魏城と合して蒼山と名する。

百華山

魏の東南五十里あり、魏の魏王、
魏城と合して百華山と名する、魏城と合して百華山と名する。

青石山

魏の東南三十里あり、魏の魏王、
魏城と合して青石山と名する、魏城と合して青石山と名する。

鹿耳山

魏の東南三十里あり、魏の魏王、
魏城と合して鹿耳山と名する、魏城と合して鹿耳山と名する。

故關

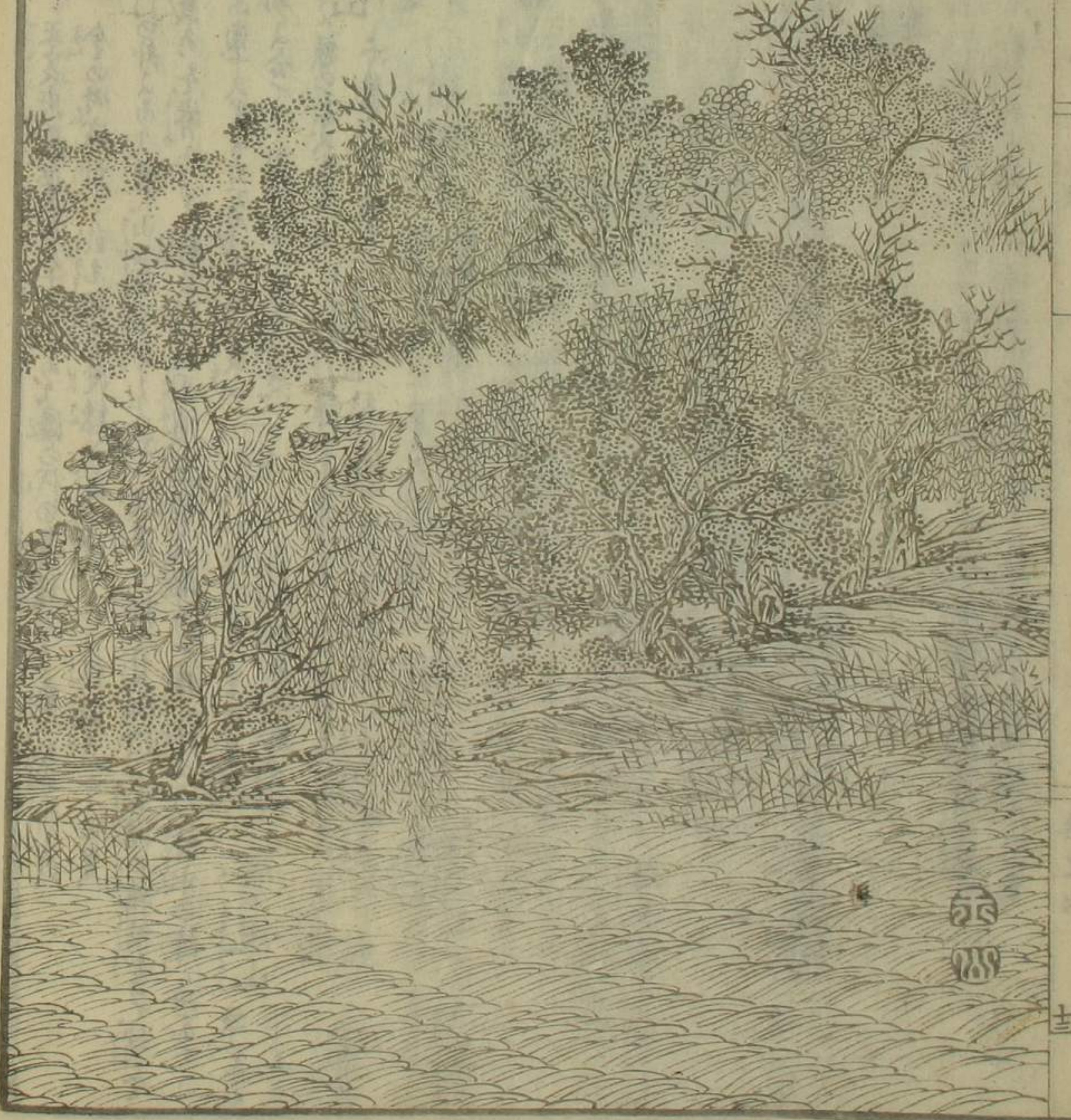
魏の西界にあり、魏の魏王、
魏城と合して故關と名する、魏城と合して故關と名する。

阜平縣

正定府の西に二百五十里あり、魏の魏王、
魏城と合して阜平縣と名する、魏城と合して阜平縣と名する。

綿曼河

韓信兵と率て
 彌を攻む夜密に
 輕騎一萬人と
 撰て人あふ赤
 幟一とおしり向る
 たり彌の軍と見
 り令して曰く彌軍
 と我の我を屬て
 交ると刀が必獲と
 室て我と逐て其
 附汝を疾撃獲よ
 彌の幟と扱して漢の
 赤幟を立よ且軍卒
 多給立よ食して大
 食とらふらうし獲と
 破て後續く兵糧とほ
 清軍當其言と信せよ
 乃韓信乃一万人の軍
 率て公保黃水乃大河
 を背けて陣と張せむら



兵を引て井陘はとめて彌軍と
 向て彌軍をよとて水と背
 して河の中へ退るせし彌軍
 兵を交て我より良えし
 韓信儀屬て鼓旗を奏
 水上の軍よさる果して彌
 軍と見せしして韓信と
 逐て韓信は水上の軍の
 水と背はし十た記地
 端をれり烈く記我して
 其勢の破るべしと迎ふ
 彌軍騎を海に退て
 登る入るもさる登る上り
 漢の赤幟風よひるなり
 門と開いて駭して彌軍
 大に驚き兵をれ樹
 崩とて道と交ると
 漢兵交と撃てよと破り
 漢軍は餘を漢水の上
 斬つて王故を捕る
 是韓信が背水の陣と



大孤山 縣の東北にあり、流河の水、
繞る不、其處に小孤山あり

大孤山

朱彞尊

兩孤去百里宛在中流半匝獨取勝殊上翠二
變昏旦大梯鬼斧開廟火神鴉玄始、雪月
輝磨、明星燦空水既澄鮮、光三陵亂、熟、清
冷風恍惚度銀漢、未力得典情、空深遊者
嘆

杏香溪世憲畫

○北山 縣の東北にあり、坂半、水平湯水、
流、此山より、流、
春、
將の石あり

○孫子山嶺

縣の東南二十里あり、古者の曰、孫臏を此に擒ん、又
觀、
北、
孫、

○鹿秋山

縣の東北にあり、其
山、
秋、

○大茂山

縣の東北
十里あり

○水簾洞

縣の
東南

水簾洞



正定府

○令龍洞 條の東九十里あり河の畔地中穴あり山

○流河 南に流れて涇河に入る

○燕脂

○崑山 條の西六十里あり

○崑山 條の南六十里あり

○湯水

條の西八十里あり

○華陽亭 條の中より西の

○龍潭

條の南六十里あり

樂城縣

波河

條の西二十里あり

○治河

條の西六十里あり

○龍潭

○卧龍岡

條の東八十里あり

○浪頭丘

外龍岡の畔あり

○人物

○樂武子祠 條の西六十里あり

仍唐縣

○人物 元の李海の樂城の人金末の匪首なり

都河

條の南六十里あり

○甘泉河

條の西三十里あり

○曲河

條の西二十里あり

○賈莊

河 條の西二十里あり

○創馬関水

條の東二十里あり

○飲馬池

條の東

○輪舟

條の東三十里あり

○洗墨池

條の東

○玉女山

條の東三十里あり

○栢山

條の東三十里あり

○崑山

條の西六十里あり

○無敵山

條の南六十里あり

○洗心亭

條の東六十里あり

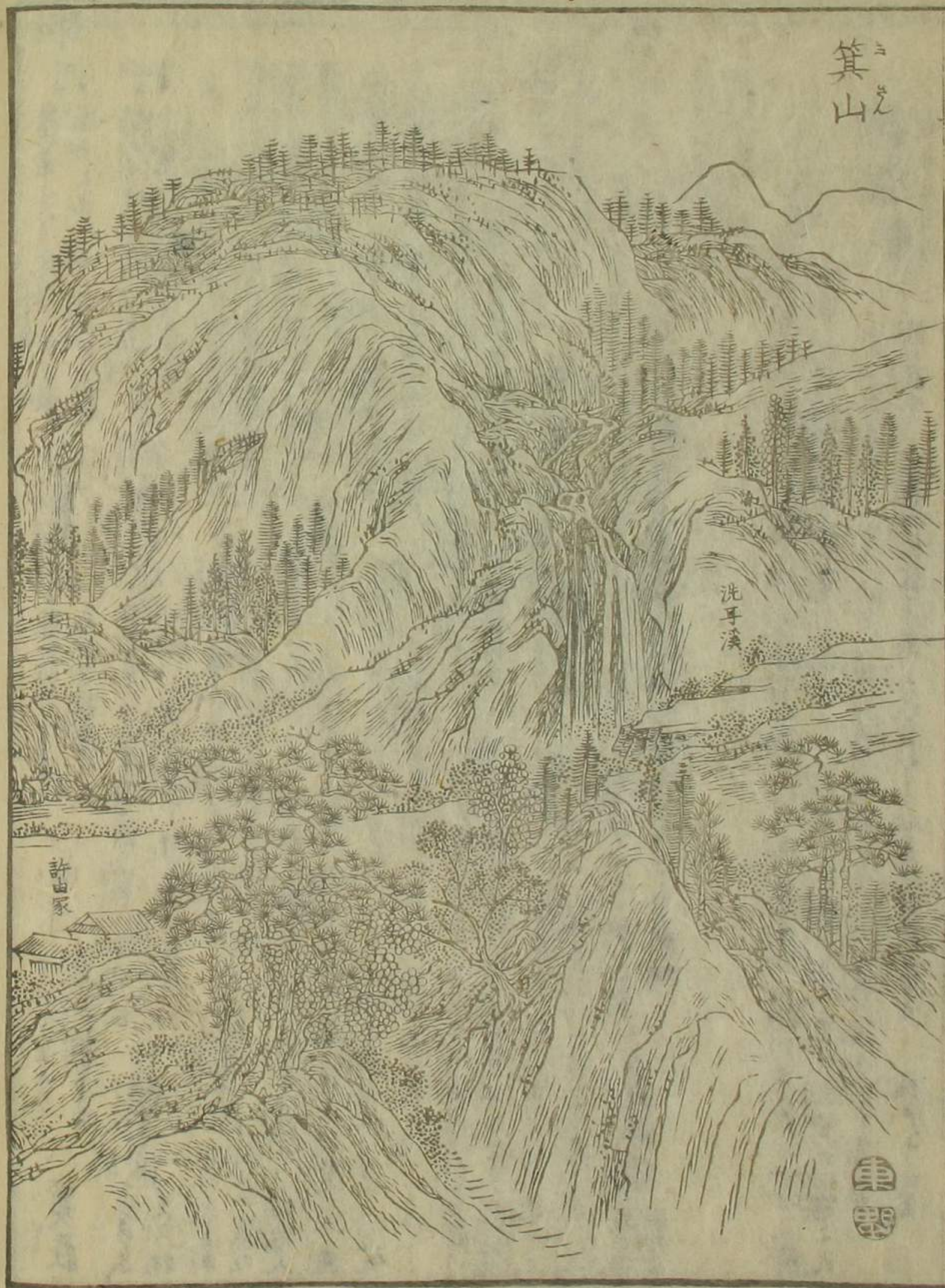
○昇僊橋

條の西

靈壽縣

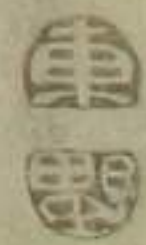
○人物 李元振の幼少の人から

箕山



洗手溪

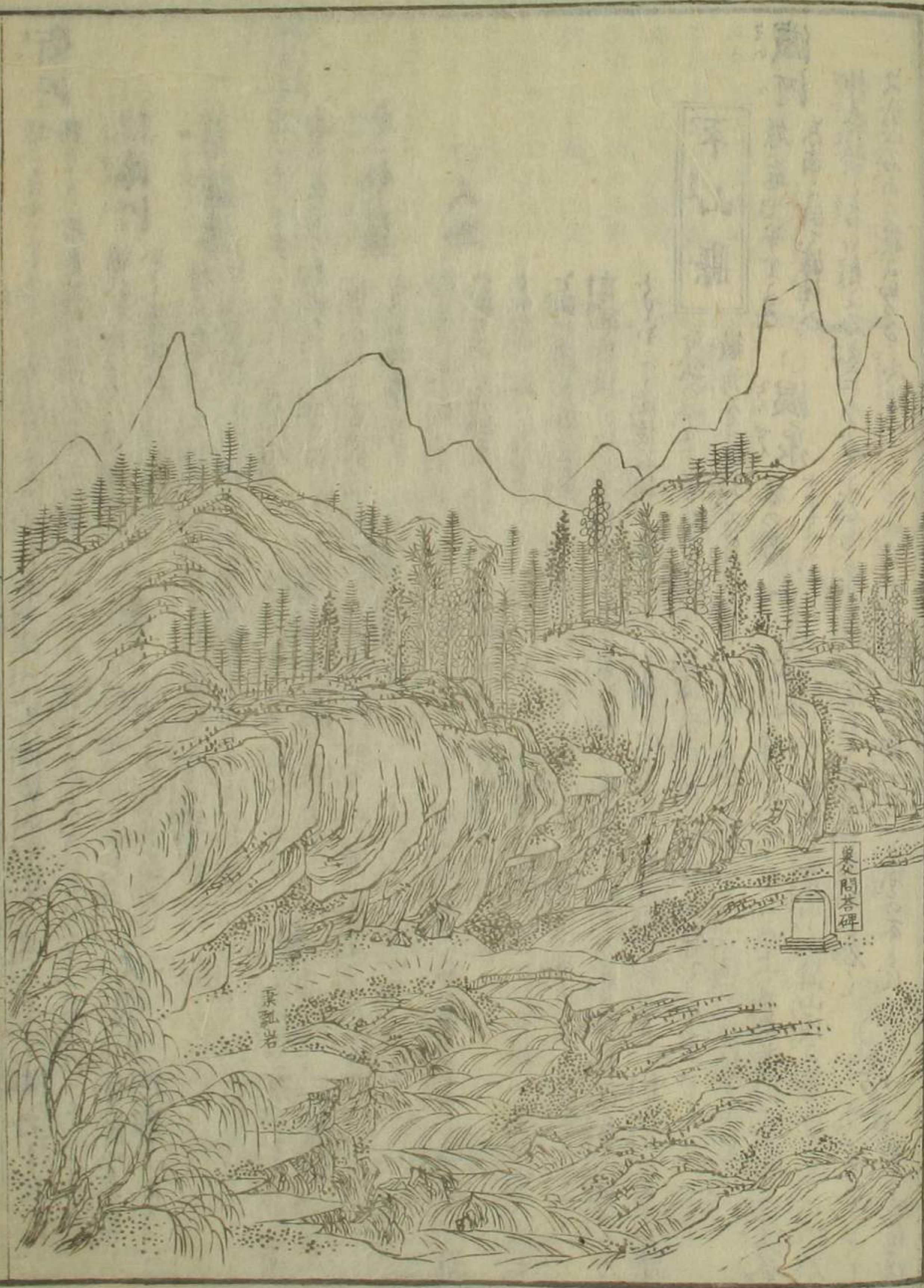
許由家



直隸

正定府

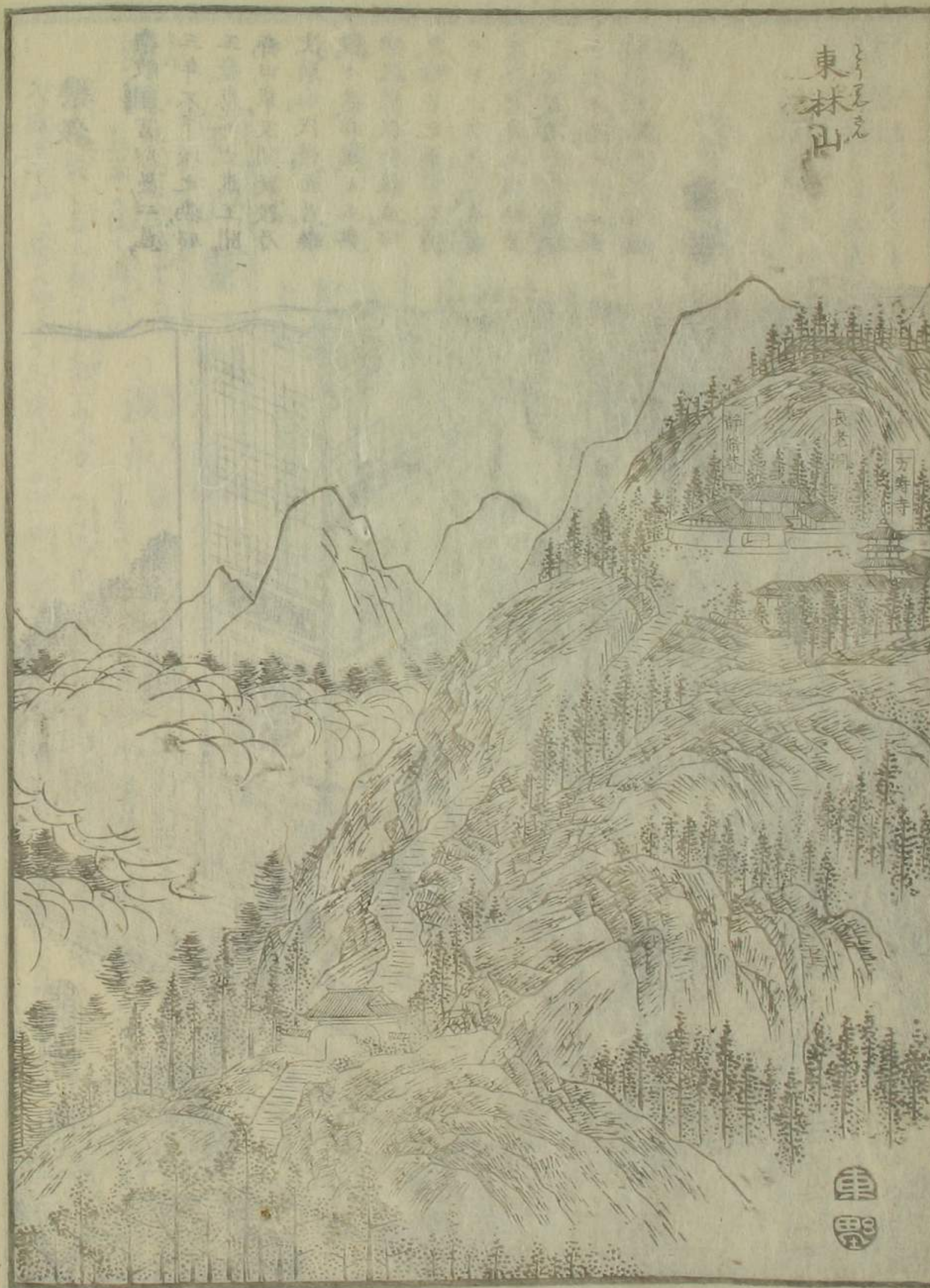
卷之六



漢文問答碑

漢文問答碑

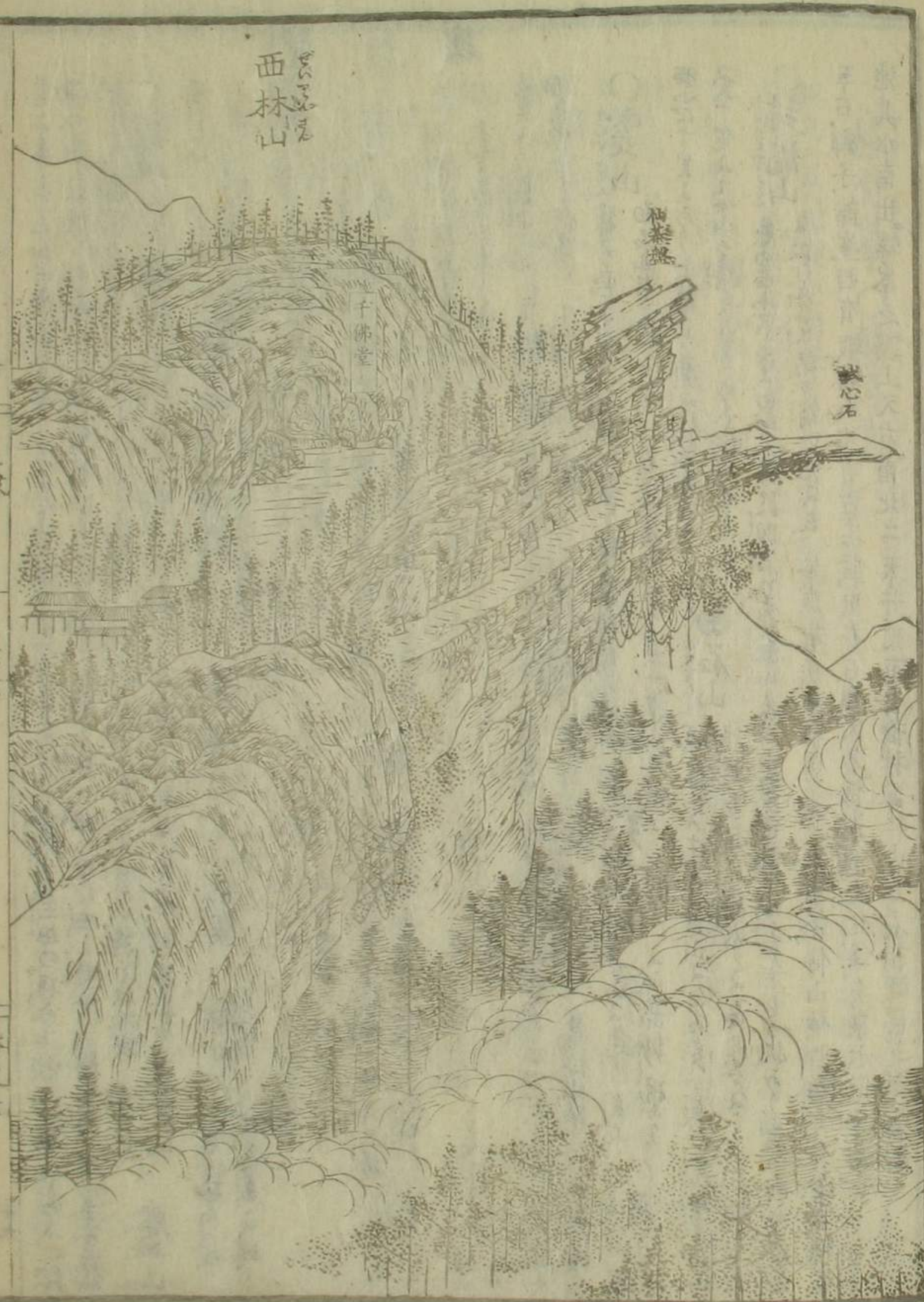
東林山



東林

十八

西林山



竹林

心石

直隸

正定府

卷之六

嘉善帝元和三年... 房山... 王母... 靈山... 抱兒石... 廬山... 望京樓... 白鹿臺... 覺山... 天相山... 抱兒石... 廬山...

元氏縣

槐水

水... 槐水... 槐水... 槐水...

沮水

沮水... 沮水... 沮水...

龍舟

龍舟... 龍舟... 龍舟...

八角井

八角井... 八角井... 八角井...

靈雲山

靈雲山... 靈雲山... 靈雲山...

神山

神山... 神山... 神山...

白石山

白石山... 白石山... 白石山...

黃石山

黃石山... 黃石山... 黃石山...

封龍山

封龍山... 封龍山... 封龍山...

玉石... 御子... 諸峯... 西有... 蝦蟇石... 北有... 古石堂... 中有... 石佛... 又各... 佛洞... 洞之... 北谷... 有... 泉水... 俗呼... 龍王... 池... 其... 水... 南出... 螺峯... 之下... 上... 又有... 南北... 二... 天井... 前有... 金... 拈... 科... 障... 二... 山... 左右... 相... 峙... 邑... 之... 勝... 蹟... 也...

龍首峯 然耳峯

極目已覺塵寰小... 尚恨世界杳杳未... 許謝紛擾會... 有賞心人... 相期拾瑤草... 元安照龍首峯詩... 奇峯千仞高... 突兀... 不憚遠行登... 最高峯... 頓覺天宇近... 一洗群山空... 奇哉此絕境... 造化天無功... 神襟日以曠... 寫我壯蕩胸...

白雲洞

白雲洞... 白雲洞... 白雲洞...

龍泉

龍泉... 龍泉... 龍泉...

龍泉

龍泉... 龍泉... 龍泉...

武鏡石

武鏡石... 武鏡石... 武鏡石...

封龍山

封龍山... 封龍山... 封龍山...

割髮山

割髮山... 割髮山... 割髮山...

磨盤山

磨盤山... 磨盤山... 磨盤山...

元氏故城

元氏故城... 元氏故城... 元氏故城...

贊皇縣

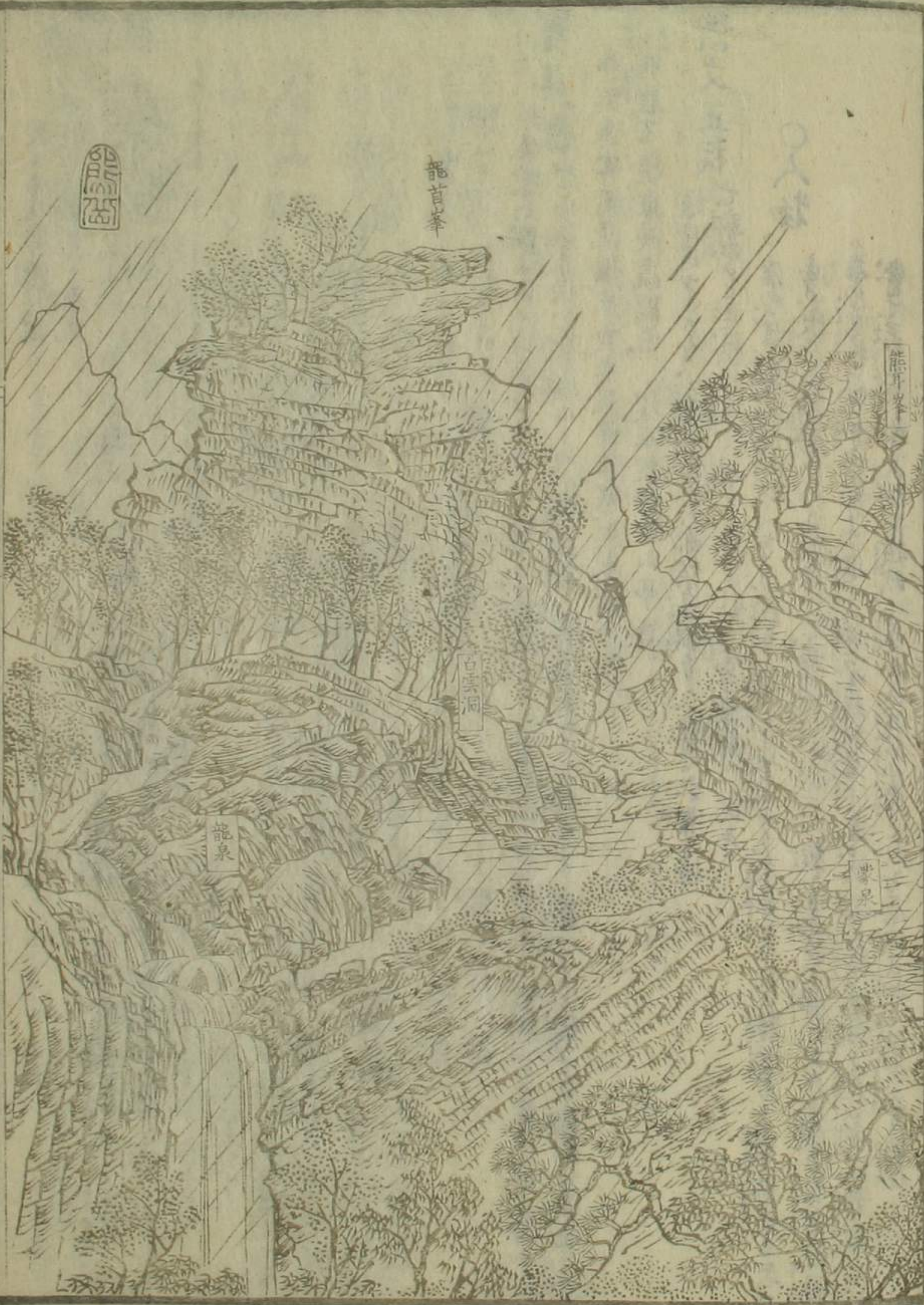
贊皇縣... 贊皇縣... 贊皇縣...

人物

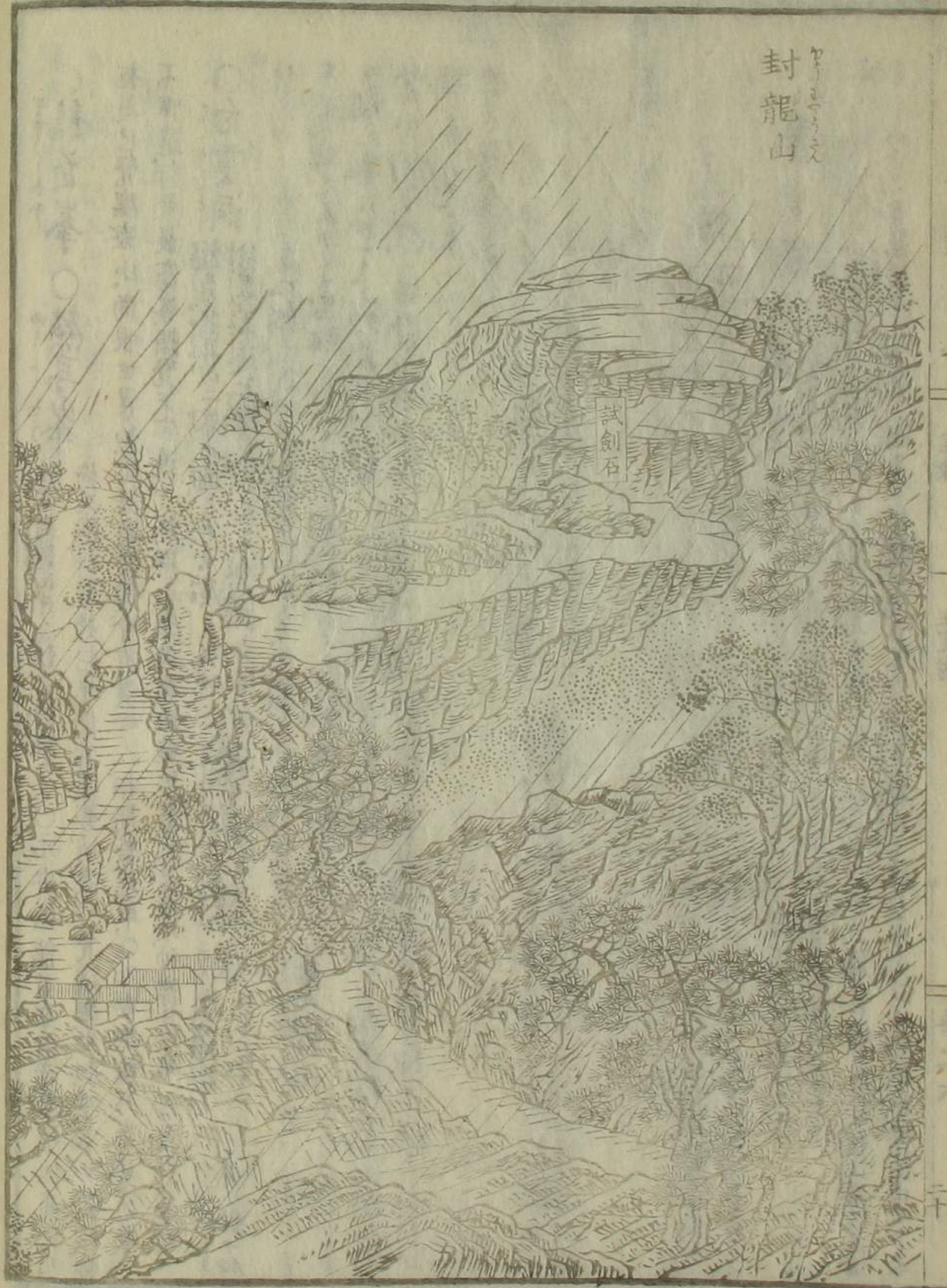
人物... 人物... 人物...

贊皇縣

贊皇縣... 贊皇縣... 贊皇縣...



封龍山



里あり。即禪窟也。河上。餘餘と轉る。

檀山 條の北十里あり。高百餘丈。周り。檀王此に禪と號む。

五馬山 條の北十里あり。高百餘丈。周り。五馬此に禪と號む。

石乳龍泉 條の西南百里有。泉あり。懸崖あり。泉の味甚佳なり。俗傳云。昔此に龍あり。泉を飲むと長生不死なり。

十八盤山 條の西南二十里有。高百餘丈。周り。十八盤此に禪と號む。

懸崖 條の西南百里有。崖あり。泉あり。泉の味甚佳なり。俗傳云。昔此に龍あり。泉を飲むと長生不死なり。

登臨邀客倚危欄。衣袂春風尚怯寒。近水遠山都入眼。不須重展畫圖看。 梁車登環山亭詩

渭文正祠 條の中より。文正公の祠あり。祠あり。祠あり。

人物 唐の李元昊。魏の楊大眼。魏の楊大眼。魏の楊大眼。

無極縣 府城の北十里あり。漢の毋極。唐の毋極。

空谷齋 條の西南二十里有。齋あり。齋あり。

同山堂 條の西南二十里有。堂あり。堂あり。

人物 魏の甄氏。甄氏の人。甄氏の人。甄氏の人。

蒙城縣 府城の西南二十里有。蒙城あり。蒙城あり。

鄴陽水 條の西南二十里有。水あり。水あり。

雲山 條の西南二十里有。山あり。山あり。

示衣飯 條の西南二十里有。飯あり。飯あり。

直隸 正定府 卷之六

里あり。即禪窟也。河上。餘餘と轉る。

檀山 條の北十里あり。高百餘丈。周り。檀王此に禪と號む。

五馬山 條の北十里あり。高百餘丈。周り。五馬此に禪と號む。

石乳龍泉 條の西南百里有。泉あり。懸崖あり。泉の味甚佳なり。俗傳云。昔此に龍あり。泉を飲むと長生不死なり。

十八盤山 條の西南二十里有。高百餘丈。周り。十八盤此に禪と號む。

懸崖 條の西南百里有。崖あり。泉あり。泉の味甚佳なり。俗傳云。昔此に龍あり。泉を飲むと長生不死なり。

登臨邀客倚危欄。衣袂春風尚怯寒。近水遠山都入眼。不須重展畫圖看。 梁車登環山亭詩

渭文正祠 條の中より。文正公の祠あり。祠あり。祠あり。

人物 唐の李元昊。魏の楊大眼。魏の楊大眼。魏の楊大眼。

無極縣 府城の北十里あり。漢の毋極。唐の毋極。

空谷齋 條の西南二十里有。齋あり。齋あり。

同山堂 條の西南二十里有。堂あり。堂あり。

人物 魏の甄氏。甄氏の人。甄氏の人。甄氏の人。

蒙城縣 府城の西南二十里有。蒙城あり。蒙城あり。

鄴陽水 條の西南二十里有。水あり。水あり。

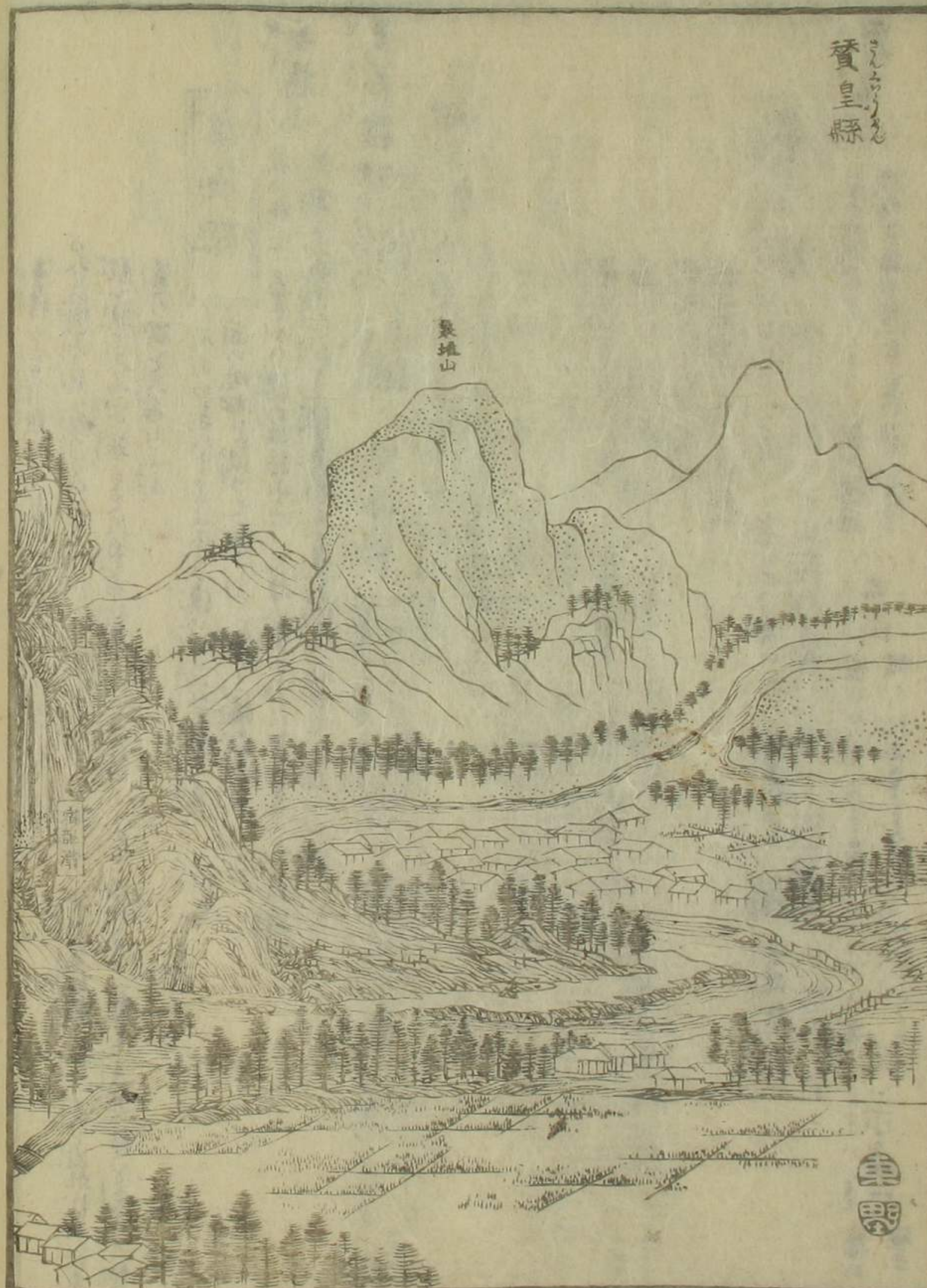
雲山 條の西南二十里有。山あり。山あり。

示衣飯 條の西南二十里有。飯あり。飯あり。

直隸 正定府 卷之六



賈山



車

三

星大監の儀あり唐の女孫山葉城と稱し遼國と據る常山の守親景御拒と防る方よりかき一匹長史を遣
 藩と物と妻孫山と傳へてこれより女孫山を人々親景御と今世の親と交へて後世に親景御と
 て傳ふる其父は世の儀ありて妻孫山と稱し遼國と據る常山の守親景御拒と防る方よりかき一匹長史を遣
 此の捨り妻孫山其心と傳へて遼國と據る常山の守親景御拒と防る方よりかき一匹長史を遣

○人物

○人物
 九の親連の葉城の人なり切して抛りぬはて者あり病承去平の即なりなり
 後世に世に傳ふる名は親景御拒と防る方よりかき一匹長史を遣
 此の捨り妻孫山其心と傳へて遼國と據る常山の守親景御拒と防る方よりかき一匹長史を遣

新樂縣

沙河

縣の要南より沙河山西の縣沙河縣の故城あり
 縣の界を河に據りて沙河縣あり

○孫中丞龍溪水あり沙河縣の東山より沙河縣の故城あり
 孫中丞龍溪水あり沙河縣の東山より沙河縣の故城あり

○杜姑村

杜姑村の東十里あり沙河縣の故城あり
 杜姑村の東十里あり沙河縣の故城あり

○春露亭

○春露亭
 縣の南十里あり沙河縣の故城あり
 縣の南十里あり沙河縣の故城あり

亭詞鎮陽東郭澤池北許有亭翼然密邇先墓草木蒼蒼非々雨露降兮朝晞雲冥々々不返鳥鳴
 々々増悲歲時兮來享陟彼高兮騁望感吾念兮思親帳音空兮惚々覽日月兮交馳寒與暑兮相



示衣坂

車馬

依尚求延兮孫子
勿俾女親兮鬼饑

○義其皇 後燕の義其皇の孫の遺
○洗兒池 義其皇の孫あり相傳人相傳
其様の若き者あり

○人物

劉宋の人、魏志にあり、其の孫、
其妻劉氏、劉宋の太子、
劉宋の太子、
劉宋の太子、
劉宋の太子、

晋州

正史府の北九十里あり、春秋の魏、
後魏の魏、
後魏の魏、

鼓城山

晋州の西八
里あり

五龍井

晋州の東あり、
五龍井あり

蓮花池

晋州の北三里
あり

京觀

晋州の北十里あり、
後魏の京觀あり

唐魏徵墓

晋州の西南
八里あり

○人物

魏の魏徵、
魏の魏徵、

順德府

禹貢冀州乃涇周の邢國の地なり、
魏國は魏、
秦は信都縣を

魏郡に屬し、項羽秦と破して、
魏國とあり、
漢は魏郡常山の二郡暨

魏郡と平乃二國に屬し、
晋の附石勒が、
後魏は襄國縣と改め、隋

の開皇の同邢州と、
唐の天安の魏改りて、
魏郡と改め、宋は信德府と、
金は

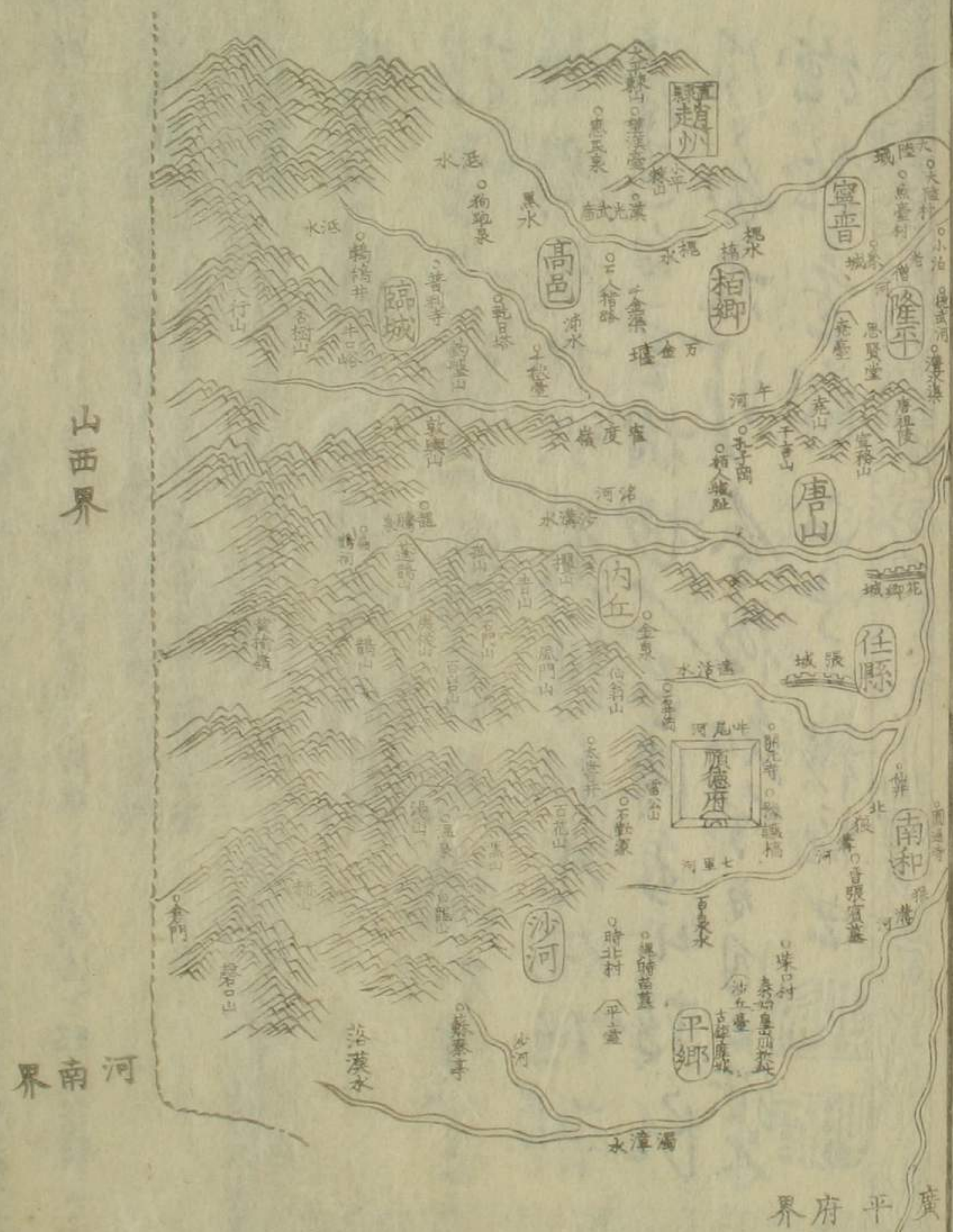
後邢州と、
元の魏改りて、
明の洪武中、
順德府と、
北平の布政司

に屬し、
後系師は直隸と、
清朝は、
依る領と、
縣九、
邢其、
縣曰、
沙河、
縣曰、
任、
縣曰、
順

曰、
南、
縣曰、
平、
縣曰、
廣、
縣曰、
唐、
縣曰、
山、
縣曰、
内、
縣曰、
丘、
縣曰、
任、
縣曰、
順

德、
府、
曰、
平、
府、
曰、
廣、
府、
曰、
唐、
府、
曰、
山、
府、
曰、
内、
府、
曰、
丘、
府、
曰、
任、
府、
曰、
順

正定府界

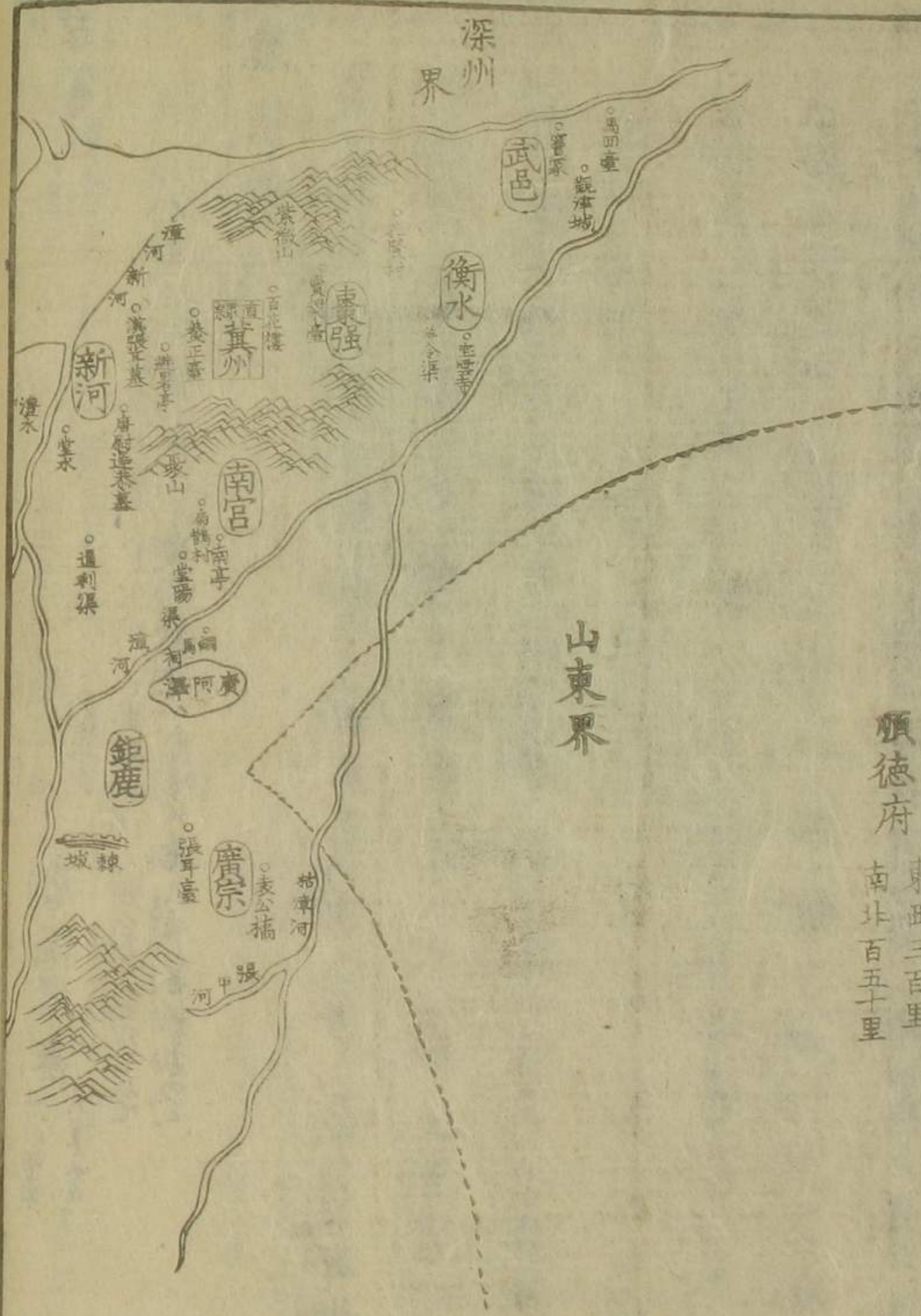


山西界

河南界

平廣府界

順德府及趙州總圖



山東界

順德府 東西三百里 南北百五十里

縣二百八十里南廣平府之永年縣乃界二百八十里北朔州乃
栢鄉縣之界二百八十里北順德府之涿州地界之府治之邢臺縣之北

邢臺縣

秦之信都縣清改之龍岡縣之代
此之邢臺縣之元明改之龍岡縣之代

李于饒登邢州城樓
控書言樓此對若天涯不復在
離群街杯大巷來秋老倚樓邢
產色白雲樹杪人家詩有出城既
凡向大り分控知今日何日
強乾意鄴之也 橫城也

遠活水

府城之西水云里之南也

七星河

城南七里之南也

野河

府城之西十里之南也

石門山

府城之西十里之南也

石舟圖

府城之西十里之南也

石佛洞

府城之西十里之南也

石門山

府城之西十里之南也

石佛洞

府城之西十里之南也

石佛洞

府城之西十里之南也

石佛洞

府城之西十里之南也

石佛洞

府城之西十里之南也

石佛洞

府城之西十里之南也

石佛洞

府城之西十里之南也

石佛洞

府城之西十里之南也

石佛洞

府城之西十里之南也

石佛洞

府城之西十里之南也

石佛洞

府城之西十里之南也

石佛洞

府城之西十里之南也

石佛洞

府城之西十里之南也

石佛洞

府城之西十里之南也

後讓橋

府城之內也

開元寺

府城之內也

天威

府城之內也

天威

府城之內也

殺是

府城之內也

殺是

府城之內也

黃榆嶺

府城之西也

黃榆嶺

府城之西也

黃榆嶺

府城之西也

黃榆嶺

府城之西也

珠讓

六



直隸

順德府

卷之六



二賢祠 府署の内より唐の 邢侯夫人墓 府城より南の武平の地也

○石勒塚 府の西十八里あり

○人物

唐の安撫使邢州の人なり 幼くして孤を養ふ事と當む字人恭と云ふ 後唐の 李存勖 李存勖 李存勖 李存勖 李存勖

○元の郭守敬 邢州の人なり 幼くして志あり 後唐の 李存勖 李存勖 李存勖 李存勖 李存勖

沙河縣

沙河縣の南二十里あり 沙河の南二十里あり 沙河の南二十里あり 沙河の南二十里あり 沙河の南二十里あり

○湯山

湯山の西七十里有り 湯山の西七十里有り 湯山の西七十里有り 湯山の西七十里有り 湯山の西七十里有り

○白龍山

白龍山の西三十里有り 白龍山の西三十里有り 白龍山の西三十里有り 白龍山の西三十里有り 白龍山の西三十里有り

○赫山

赫山の西二十里有り 赫山の西二十里有り 赫山の西二十里有り 赫山の西二十里有り 赫山の西二十里有り

○倉門

倉門の西百二十里有り 倉門の西百二十里有り 倉門の西百二十里有り 倉門の西百二十里有り 倉門の西百二十里有り

燕秦車

燕秦車の西百二十里有り 燕秦車の西百二十里有り 燕秦車の西百二十里有り 燕秦車の西百二十里有り 燕秦車の西百二十里有り

○人物

燕秦車の西百二十里有り 燕秦車の西百二十里有り 燕秦車の西百二十里有り 燕秦車の西百二十里有り 燕秦車の西百二十里有り

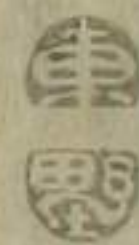
唐丞相宋璟墓

唐丞相宋璟墓の西十八里有り 唐丞相宋璟墓の西十八里有り 唐丞相宋璟墓の西十八里有り 唐丞相宋璟墓の西十八里有り 唐丞相宋璟墓の西十八里有り

南和縣

南和縣の東二十里有り 南和縣の東二十里有り 南和縣の東二十里有り 南和縣の東二十里有り 南和縣の東二十里有り

蘇秦亭



狼溝河

狼の南又里より岸上狼馬の窟あり故に名をなす。○河水
緑乃西十里より南流す河入狼溝河よりなり。

○鷲峯泉

狼の南又里より水二道
あり峯に於て湧き出ず

○僊舟

狼の南又里より其水地
平なり舟を漕ぐべし

○圓通寺

狼の南又里より水泉あり
寺内の後園十七級あり

晋張賓塚

狼の西三十里より張賓の冢後漢の石刻あり
塚の南に碑あり

○人物

唐の宋陳南和の人なり其節あり其の件風聞を人々
相告と顧氏まきの母相と拜せらるる政刑よりして
政を以て前様とん

平鄉縣

府の東南百里より漢の度平國唐高祖より後魏及び平鄉縣
封州を設けし後魏より平鄉縣を治す

後一十年十八年... 漢の武帝... 唐の太宗... 魏の文帝... 齊の武帝... 梁の武帝... 陳の武帝... 隋の文帝... 唐の太宗... 宋の太祖... 元の太祖... 明の太祖... 清の太祖... 漢の武帝... 唐の太宗... 魏の文帝... 齊の武帝... 梁の武帝... 陳の武帝... 隋の文帝... 唐の太宗... 宋の太祖... 元の太祖... 明の太祖... 清の太祖...

唐山縣

唐の太宗... 魏の文帝... 齊の武帝... 梁の武帝... 陳の武帝... 隋の文帝... 唐の太宗... 宋の太祖... 元の太祖... 明の太祖... 清の太祖...

于言山

琴山

琴山の西北... 唐の太宗... 魏の文帝... 齊の武帝... 梁の武帝... 陳の武帝... 隋の文帝... 唐の太宗... 宋の太祖... 元の太祖... 明の太祖... 清の太祖...

孔子園

孔子園の西北... 唐の太宗... 魏の文帝... 齊の武帝... 梁の武帝... 陳の武帝... 隋の文帝... 唐の太宗... 宋の太祖... 元の太祖... 明の太祖... 清の太祖...

相人城址

内邱縣

内邱縣の西北... 唐の太宗... 魏の文帝... 齊の武帝... 梁の武帝... 陳の武帝... 隋の文帝... 唐の太宗... 宋の太祖... 元の太祖... 明の太祖... 清の太祖...

洛河

沙溝水

洗腸水

青山

攬山

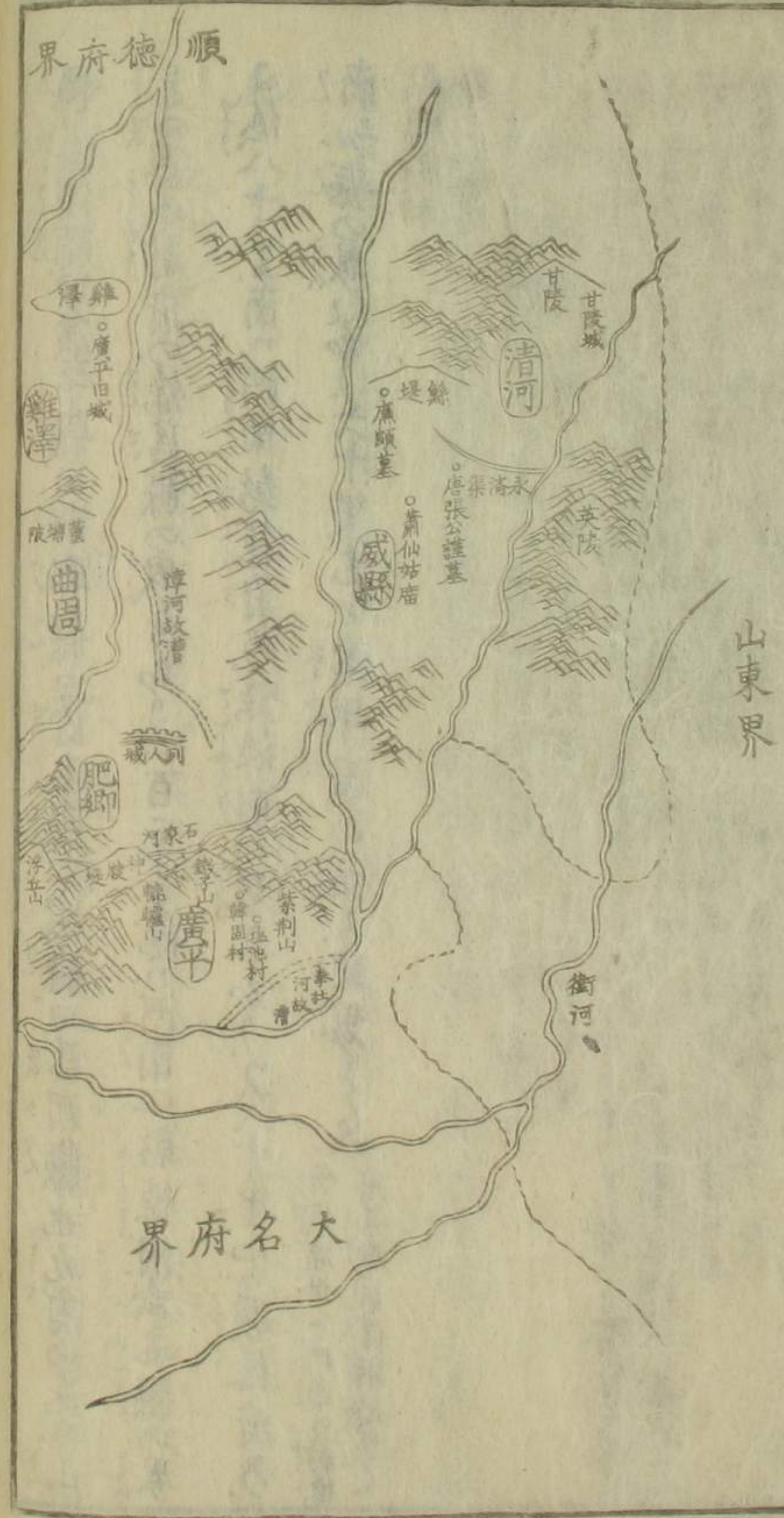
孤山

人物

人物の... 唐の太宗... 魏の文帝... 齊の武帝... 梁の武帝... 陳の武帝... 隋の文帝... 唐の太宗... 宋の太祖... 元の太祖... 明の太祖... 清の太祖...

廣平府總圖

廣平府 東西二百里 南北百四十里



大名府界

山東界

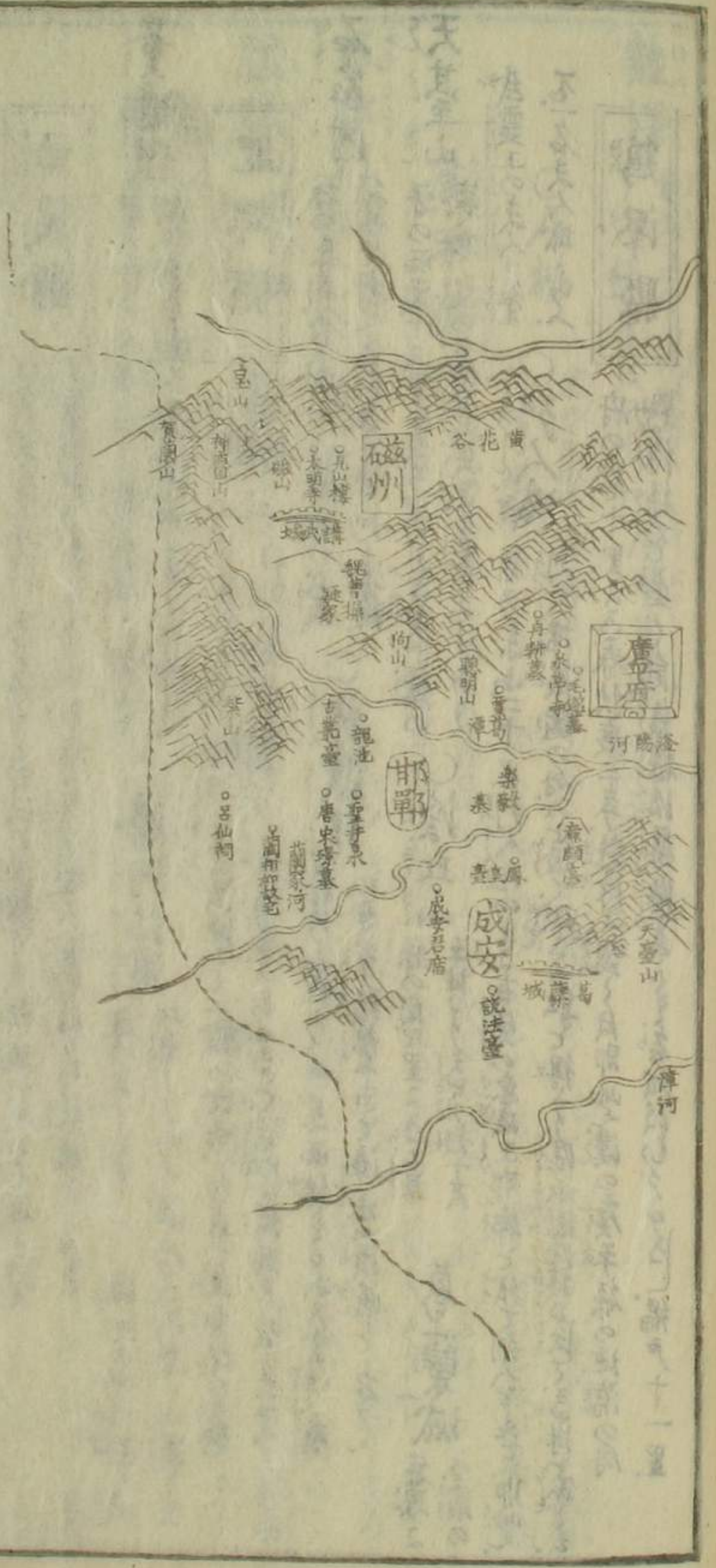
順德府界

直隸

廣平府

卷之六

河南界



大名府界

聰明山 府城の西十里あり上三徳明神廟の

名山 府城の西七十里あり善の善泉 廉頗墓 府城の西七十里あり

再耕墓 府城の西十里あり

泉亭寺 府の西十里あり内三徳池の水泉大に流す昔清王の墓高麗

曲周縣 府城の東十里あり

澤河枯溝 府城の東十里あり澤河の水枯溝は

肥鄉縣 府城の東十里あり

澤河枯溝 府城の東十里あり澤河の水枯溝は

天其山 府城の東十里あり

葛藤城 府城の東十里あり

石家河 府城の東十里あり

葛藤城 府城の東十里あり

雞澤 府城の東十里あり

葛藤城 府城の東十里あり

廣平縣 府城の東十里あり

葛藤城 府城の東十里あり

泰壯河 府城の東十里あり

葛藤城 府城の東十里あり

滌瀘山 府城の東十里あり

葛藤城 府城の東十里あり

紫荊山 府城の東十里あり

葛藤城 府城の東十里あり

嶽子山 府城の東十里あり

葛藤城 府城の東十里あり

聖水樹 府城の東十里あり

葛藤城 府城の東十里あり

人物 府城の東十里あり

葛藤城 府城の東十里あり

廣平縣 府城の東十里あり

葛藤城 府城の東十里あり

泰壯河 府城の東十里あり

葛藤城 府城の東十里あり

滌瀘山 府城の東十里あり

葛藤城 府城の東十里あり

紫荊山 府城の東十里あり

葛藤城 府城の東十里あり

嶽子山 府城の東十里あり

葛藤城 府城の東十里あり

聖水樹 府城の東十里あり

葛藤城 府城の東十里あり

人物 府城の東十里あり

葛藤城 府城の東十里あり

廣平縣 府城の東十里あり

葛藤城 府城の東十里あり

泰壯河 府城の東十里あり

葛藤城 府城の東十里あり

滌瀘山 府城の東十里あり

葛藤城 府城の東十里あり

紫荊山 府城の東十里あり

葛藤城 府城の東十里あり

嶽子山 府城の東十里あり

葛藤城 府城の東十里あり

聖水樹 府城の東十里あり

葛藤城 府城の東十里あり

人物 府城の東十里あり

葛藤城 府城の東十里あり

西河 條の西二十里あり。一、瀉水と名く。○蒲家河 條の西南二十里あり。○渝羅河 條の西二十里あり。○聖母泉 條の西二十里あり。○紫山 條の西二十里あり。○蘭相如墓 條の西南二十里あり。○樂毅墓 條の東二十里あり。○唐宋深墓 條の西二十里あり。○儒祠 條の西二十里あり。○古業墓 條の西二十里あり。

西河 條の西二十里あり。一、瀉水と名く。○蒲家河 條の西南二十里あり。○渝羅河 條の西二十里あり。○聖母泉 條の西二十里あり。○紫山 條の西二十里あり。○蘭相如墓 條の西南二十里あり。○樂毅墓 條の東二十里あり。○唐宋深墓 條の西二十里あり。○儒祠 條の西二十里あり。○古業墓 條の西二十里あり。

紫山 條の西二十里あり。一、西山と名く。○馬鞍山 條の西二十里あり。○古業墓 條の西二十里あり。○聖母泉 條の西二十里あり。○紫山 條の西二十里あり。○蘭相如墓 條の西南二十里あり。○樂毅墓 條の東二十里あり。○唐宋深墓 條の西二十里あり。○儒祠 條の西二十里あり。○古業墓 條の西二十里あり。

蘭相如墓 條の西南二十里あり。○樂毅墓 條の東二十里あり。○唐宋深墓 條の西二十里あり。○儒祠 條の西二十里あり。○古業墓 條の西二十里あり。○聖母泉 條の西二十里あり。○紫山 條の西二十里あり。○蘭相如墓 條の西南二十里あり。○樂毅墓 條の東二十里あり。○唐宋深墓 條の西二十里あり。○儒祠 條の西二十里あり。○古業墓 條の西二十里あり。

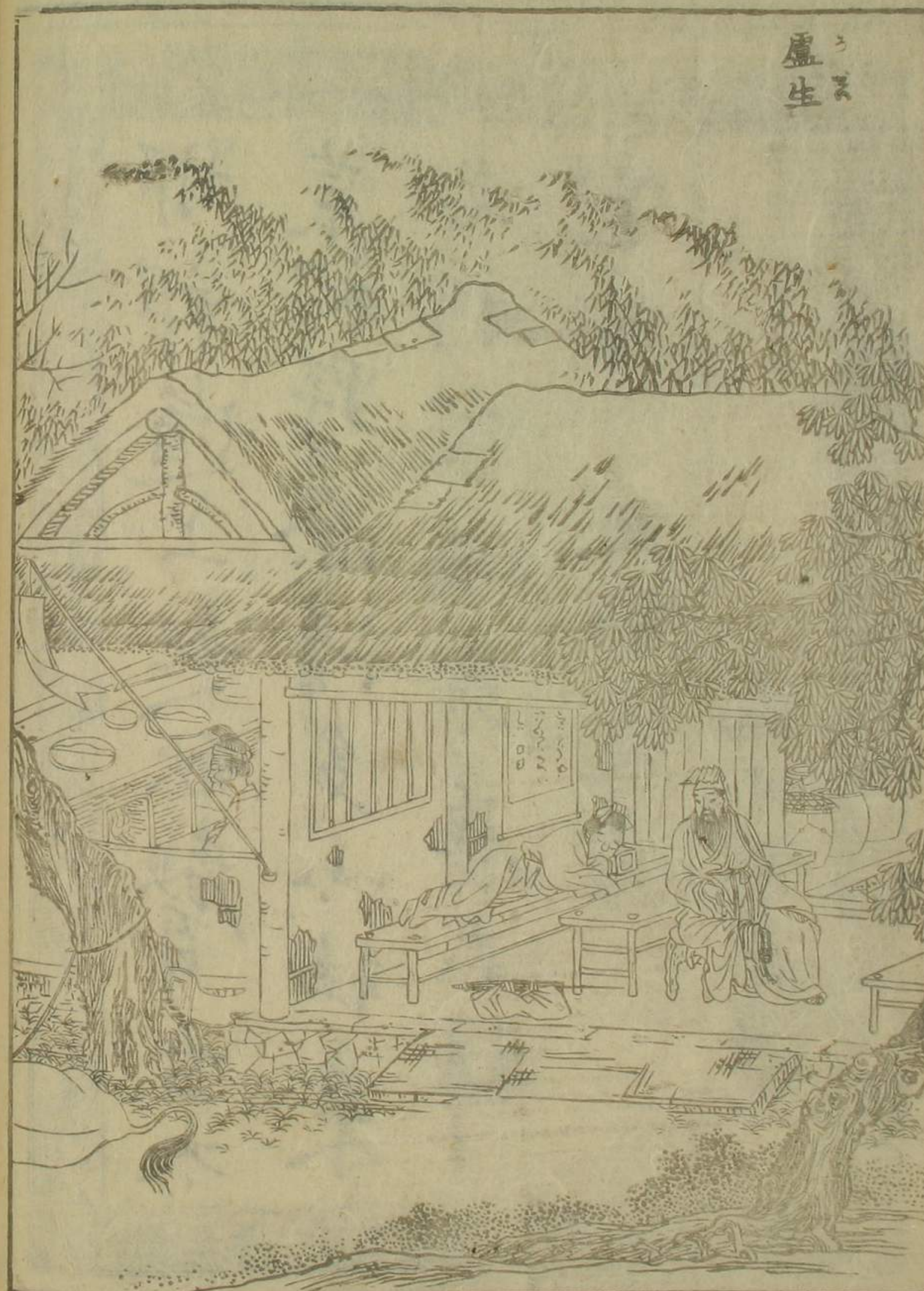
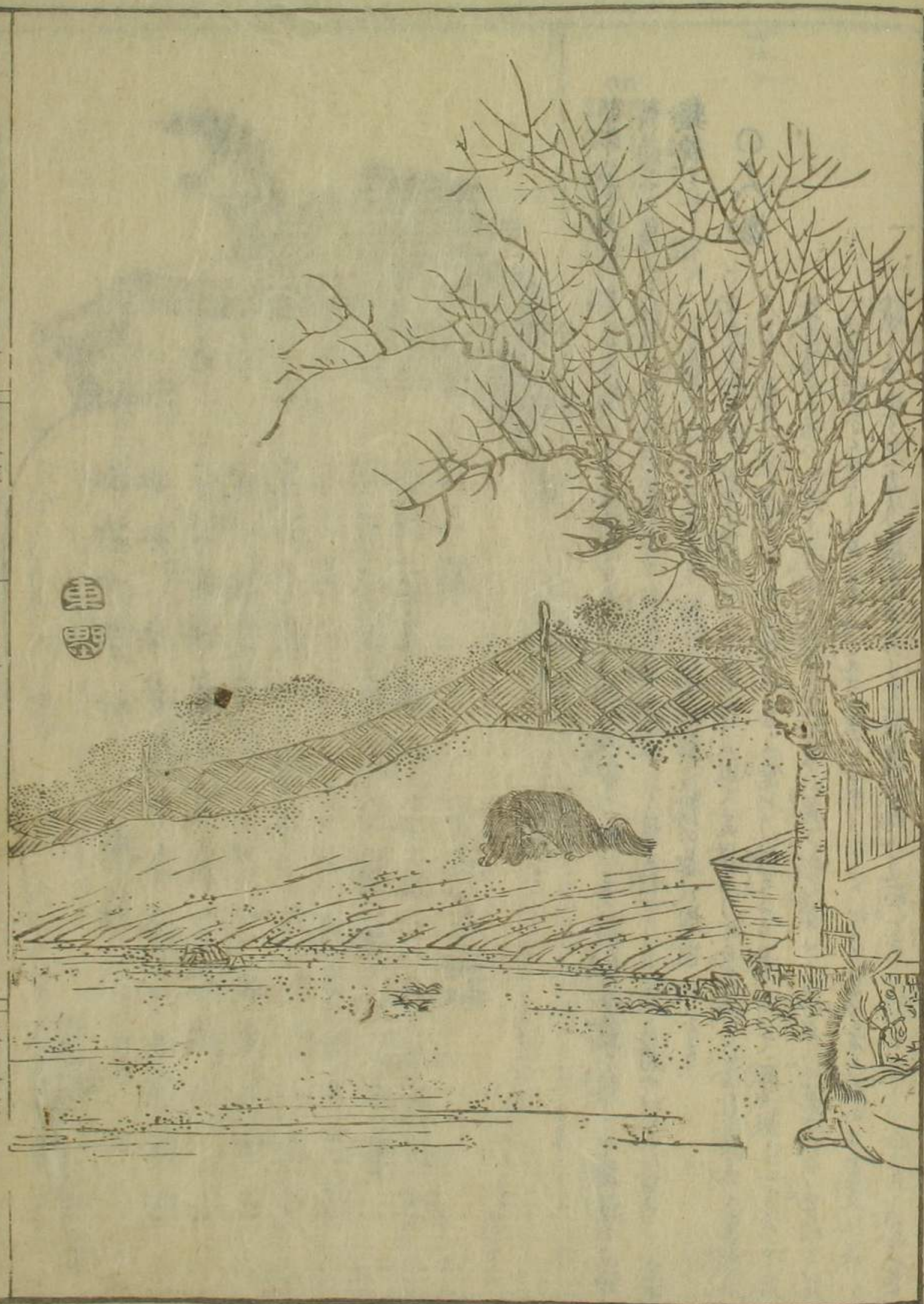
儒祠 條の西二十里あり。○古業墓 條の西二十里あり。○聖母泉 條の西二十里あり。○紫山 條の西二十里あり。○蘭相如墓 條の西南二十里あり。○樂毅墓 條の東二十里あり。○唐宋深墓 條の西二十里あり。○儒祠 條の西二十里あり。○古業墓 條の西二十里あり。○聖母泉 條の西二十里あり。○紫山 條の西二十里あり。○蘭相如墓 條の西南二十里あり。○樂毅墓 條の東二十里あり。○唐宋深墓 條の西二十里あり。○儒祠 條の西二十里あり。○古業墓 條の西二十里あり。

古業墓 條の西二十里あり。○聖母泉 條の西二十里あり。○紫山 條の西二十里あり。○蘭相如墓 條の西南二十里あり。○樂毅墓 條の東二十里あり。○唐宋深墓 條の西二十里あり。○儒祠 條の西二十里あり。○古業墓 條の西二十里あり。○聖母泉 條の西二十里あり。○紫山 條の西二十里あり。○蘭相如墓 條の西南二十里あり。○樂毅墓 條の東二十里あり。○唐宋深墓 條の西二十里あり。○儒祠 條の西二十里あり。○古業墓 條の西二十里あり。

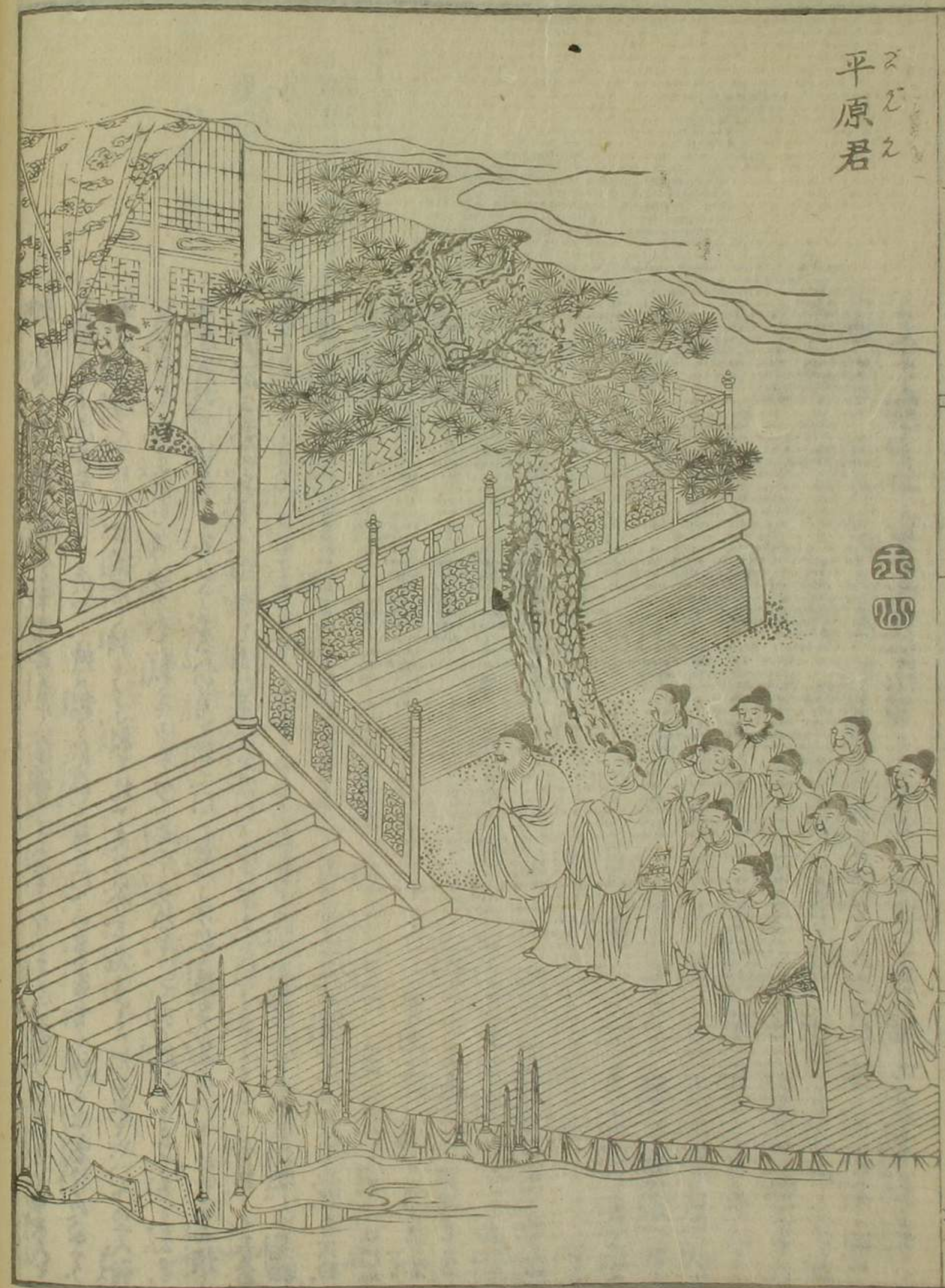
邯鄲道上起秋聲
古木荒祠野潦清
多山往來名利客
滿身塵土拜
電生邯鄲道
上作

森世黃書



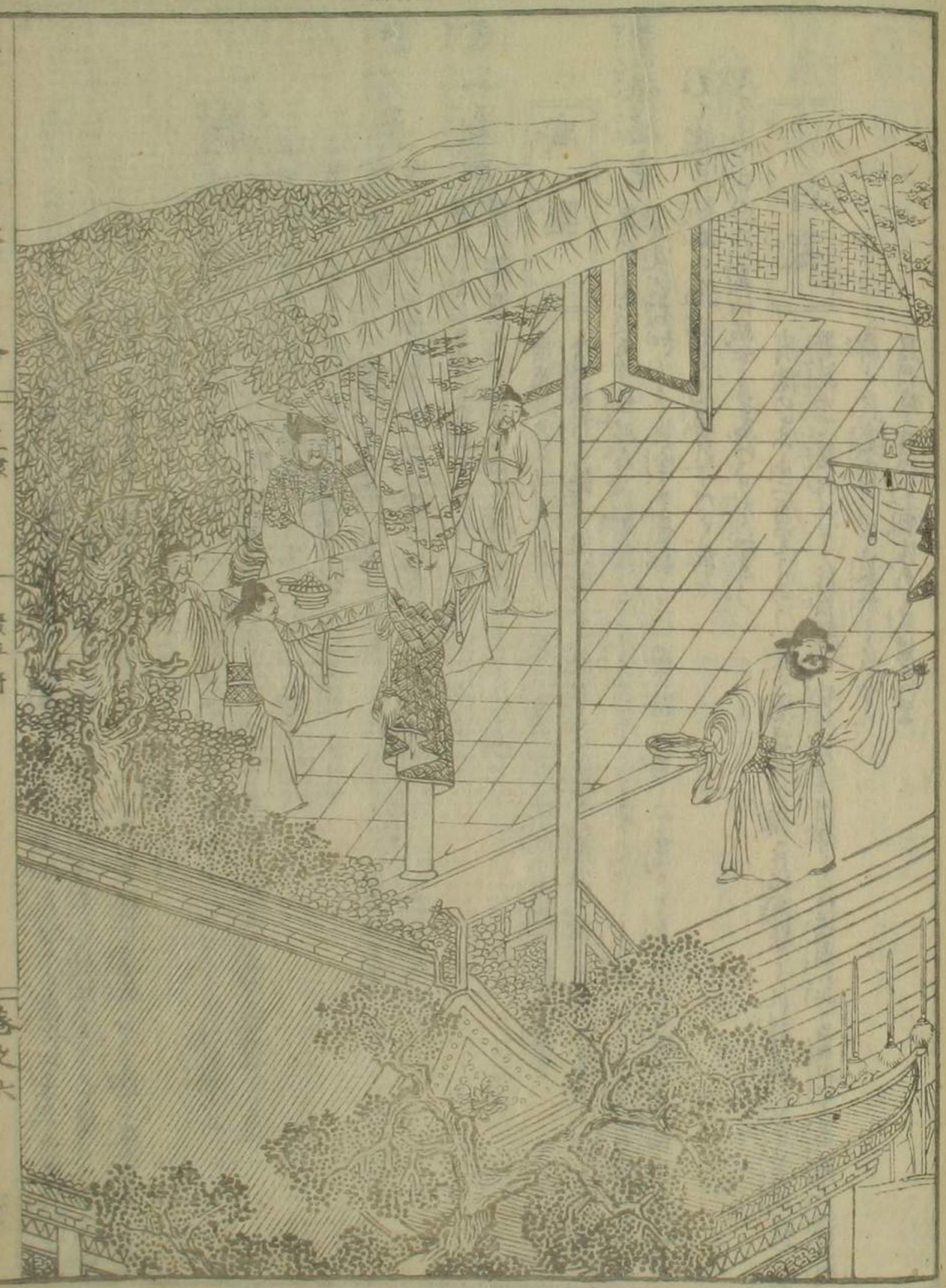


平原君



天

天



直隸

廣平府

卷之六

講武城 魏の曹操が死す 講武城の跡あり其城元七十二石森然と稱すこれと
魏の曹操が死す 講武城の跡あり其城元七十二石森然と稱すこれと
魏の曹操が死す 講武城の跡あり其城元七十二石森然と稱すこれと

魏曹操墓 魏の曹操の墓あり其墓元七十二石森然と稱すこれと
魏の曹操の墓あり其墓元七十二石森然と稱すこれと

○儒母冢 魏州刺史の母あり後漢の
魏州刺史の母あり後漢の

○人物

○人物 金の安の魏州の人なり俗性武勇なり慧性絶倫次九なり其父の剛冷湯の地
慧性絶倫次九なり其父の剛冷湯の地
慧性絶倫次九なり其父の剛冷湯の地

大名府

禹貢冀兗二州の城高の舊都なり春秋は晋の地魏國の魏都二國の後
春秋は晋の地魏國の魏都二國の後
春秋は晋の地魏國の魏都二國の後

と領する州一縣七曰開州曰元城縣曰大名縣曰南樂縣曰魏縣曰清豐縣曰
大名縣曰長垣縣 魏の河南の魏都府あり 魏の河南の魏都府あり
魏の河南の魏都府あり 魏の河南の魏都府あり

元城縣

元城縣 魏の河南の魏都府あり 魏の河南の魏都府あり
魏の河南の魏都府あり 魏の河南の魏都府あり

王莽河

王莽河 魏の河南の魏都府あり 魏の河南の魏都府あり
魏の河南の魏都府あり 魏の河南の魏都府あり

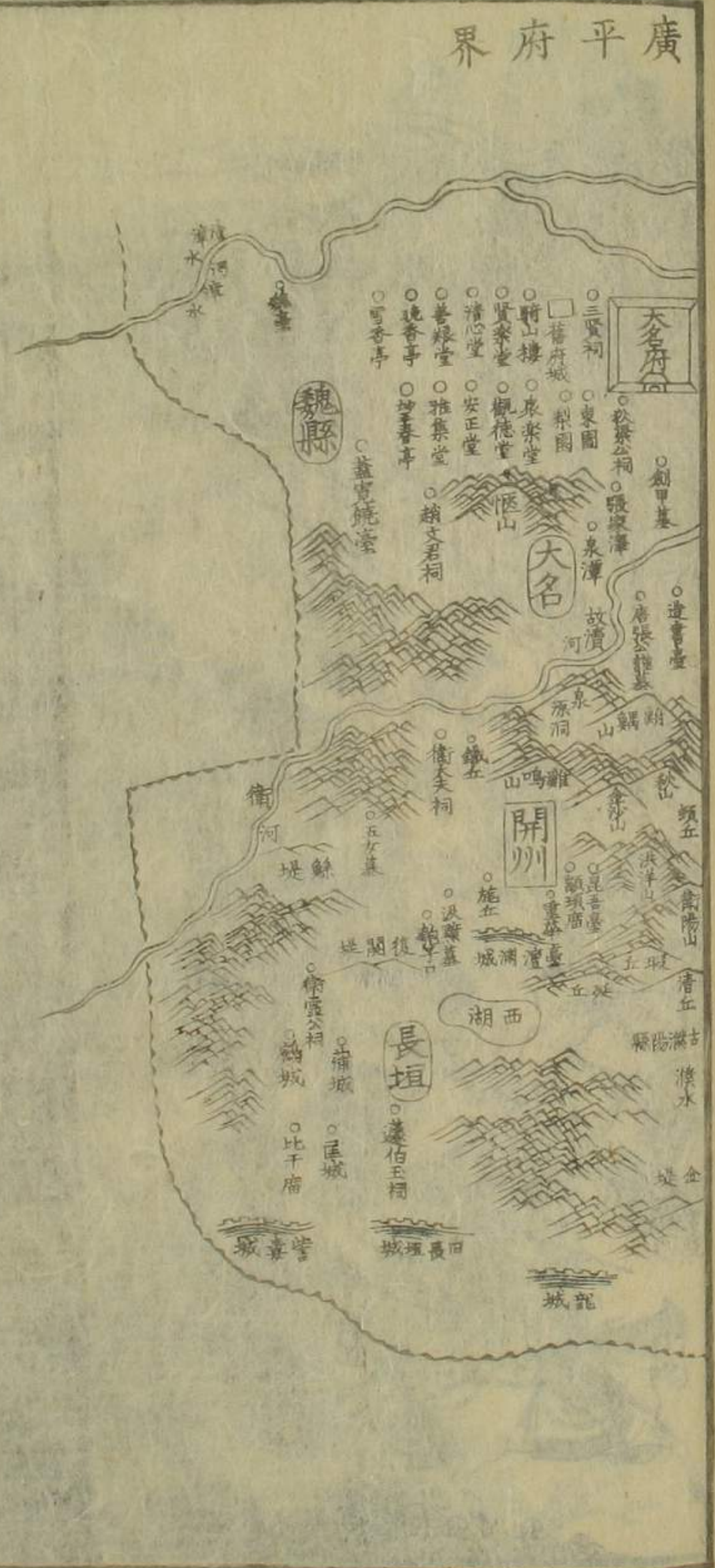
大名府總圖

大名府 東西二百里 南北五百里



山東界

河南界



廣平府界

直隸

大名府

馬陵道
こまやまのちみち

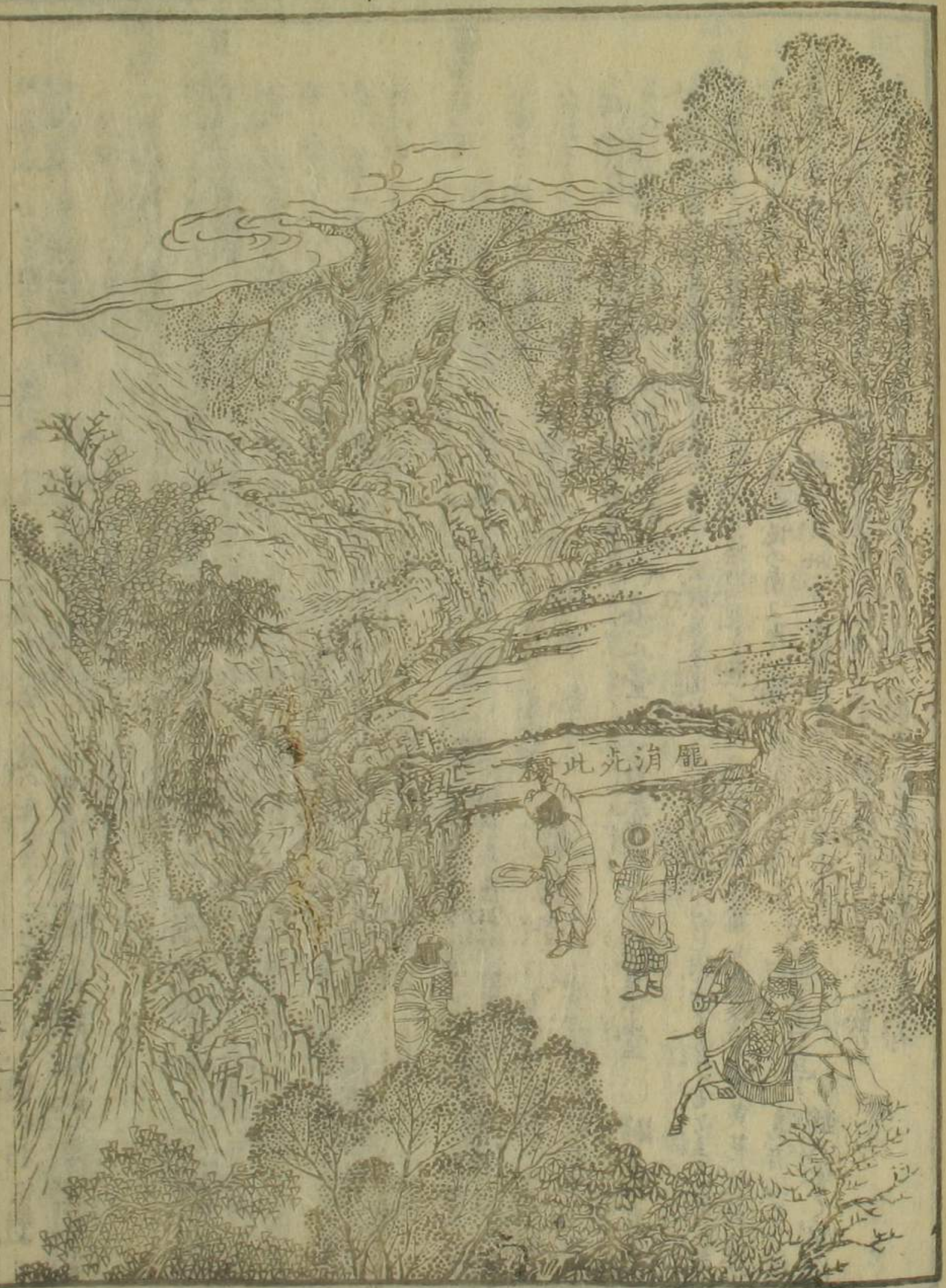


三

直隸

大名府

卷之六



魏縣

府城の西に十里あり。魏國魏の武侯の別都なり。漢に魏縣と名づけられた。隋の分隸縣と改められた。魏の魏郡魏縣と名づけられた。魏の魏郡魏縣と名づけられた。魏の魏郡魏縣と名づけられた。

魏臺

魏の魏郡魏縣と名づけられた。魏の魏郡魏縣と名づけられた。魏の魏郡魏縣と名づけられた。魏の魏郡魏縣と名づけられた。魏の魏郡魏縣と名づけられた。

蓋寬饒墓

魏の魏郡魏縣と名づけられた。魏の魏郡魏縣と名づけられた。魏の魏郡魏縣と名づけられた。魏の魏郡魏縣と名づけられた。魏の魏郡魏縣と名づけられた。

清豐縣

府の東南九十里あり。漢の頓丘縣の地。唐の天曆中魏縣と改められた。魏の魏郡魏縣と名づけられた。魏の魏郡魏縣と名づけられた。魏の魏郡魏縣と名づけられた。

龐王廟

魏の魏郡魏縣と名づけられた。魏の魏郡魏縣と名づけられた。魏の魏郡魏縣と名づけられた。魏の魏郡魏縣と名づけられた。魏の魏郡魏縣と名づけられた。

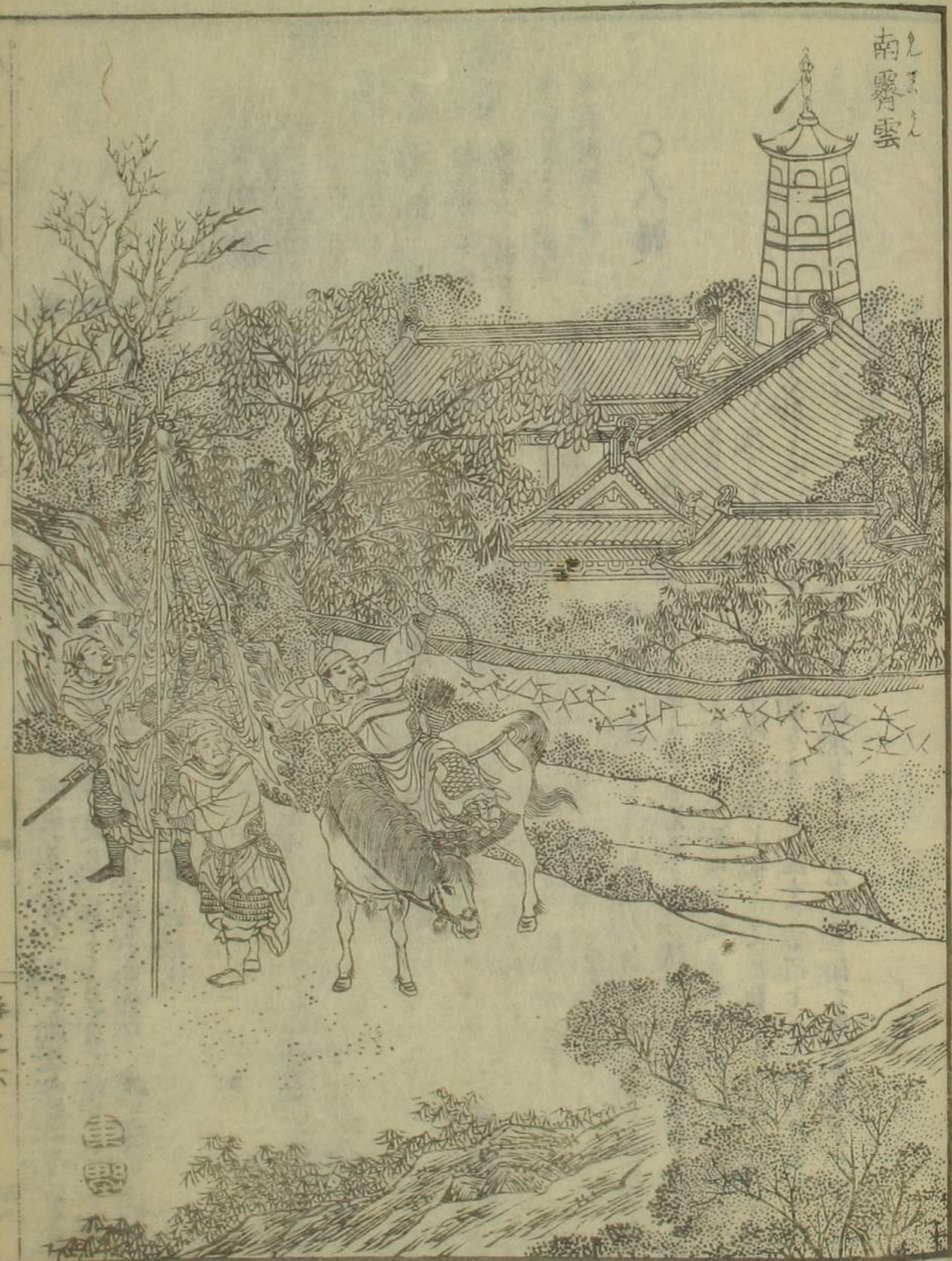
良子書臺

魏の魏郡魏縣と名づけられた。魏の魏郡魏縣と名づけられた。魏の魏郡魏縣と名づけられた。魏の魏郡魏縣と名づけられた。魏の魏郡魏縣と名づけられた。

人物

魏の魏郡魏縣と名づけられた。魏の魏郡魏縣と名づけられた。魏の魏郡魏縣と名づけられた。魏の魏郡魏縣と名づけられた。魏の魏郡魏縣と名づけられた。

南齊雲

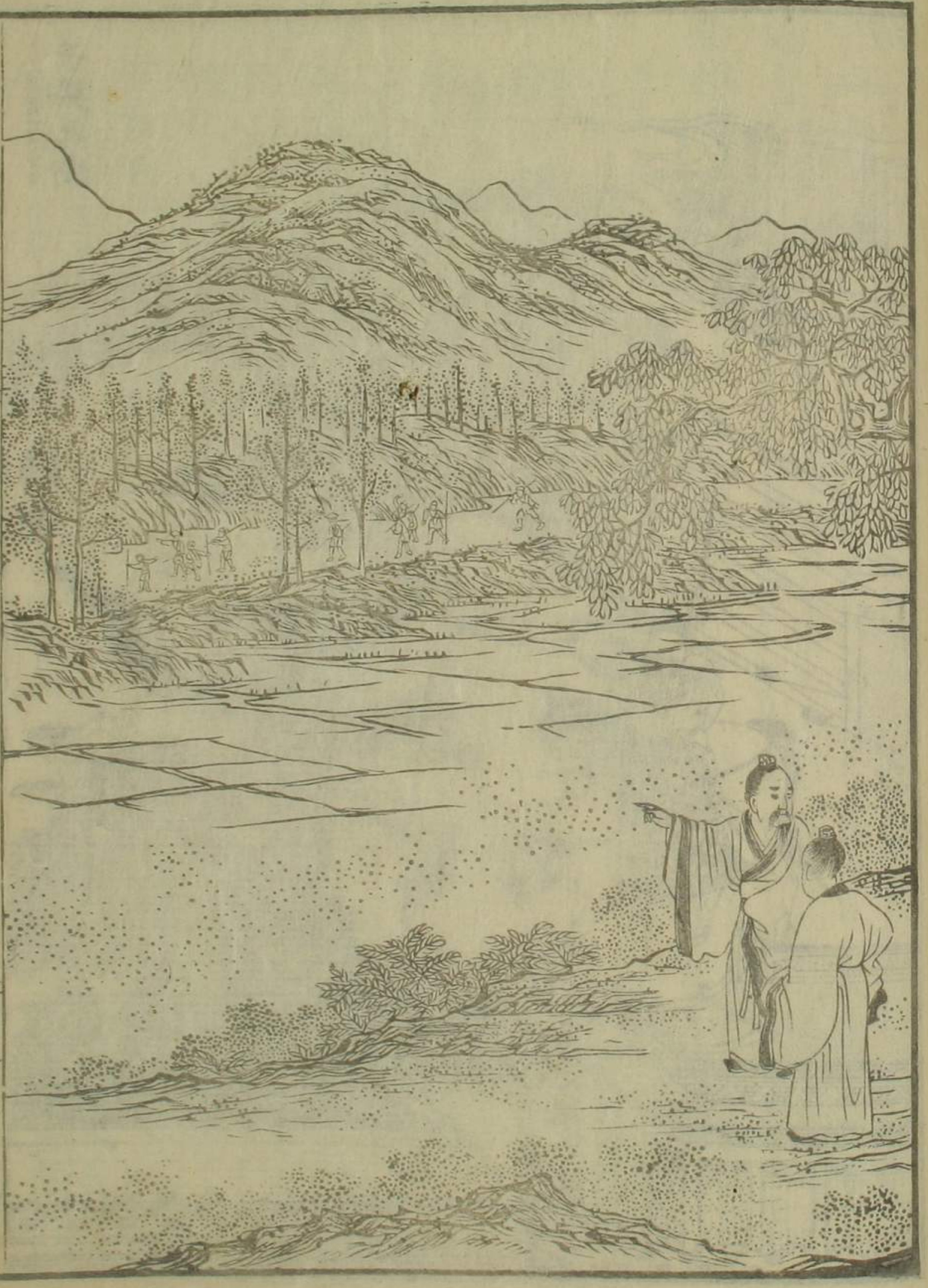
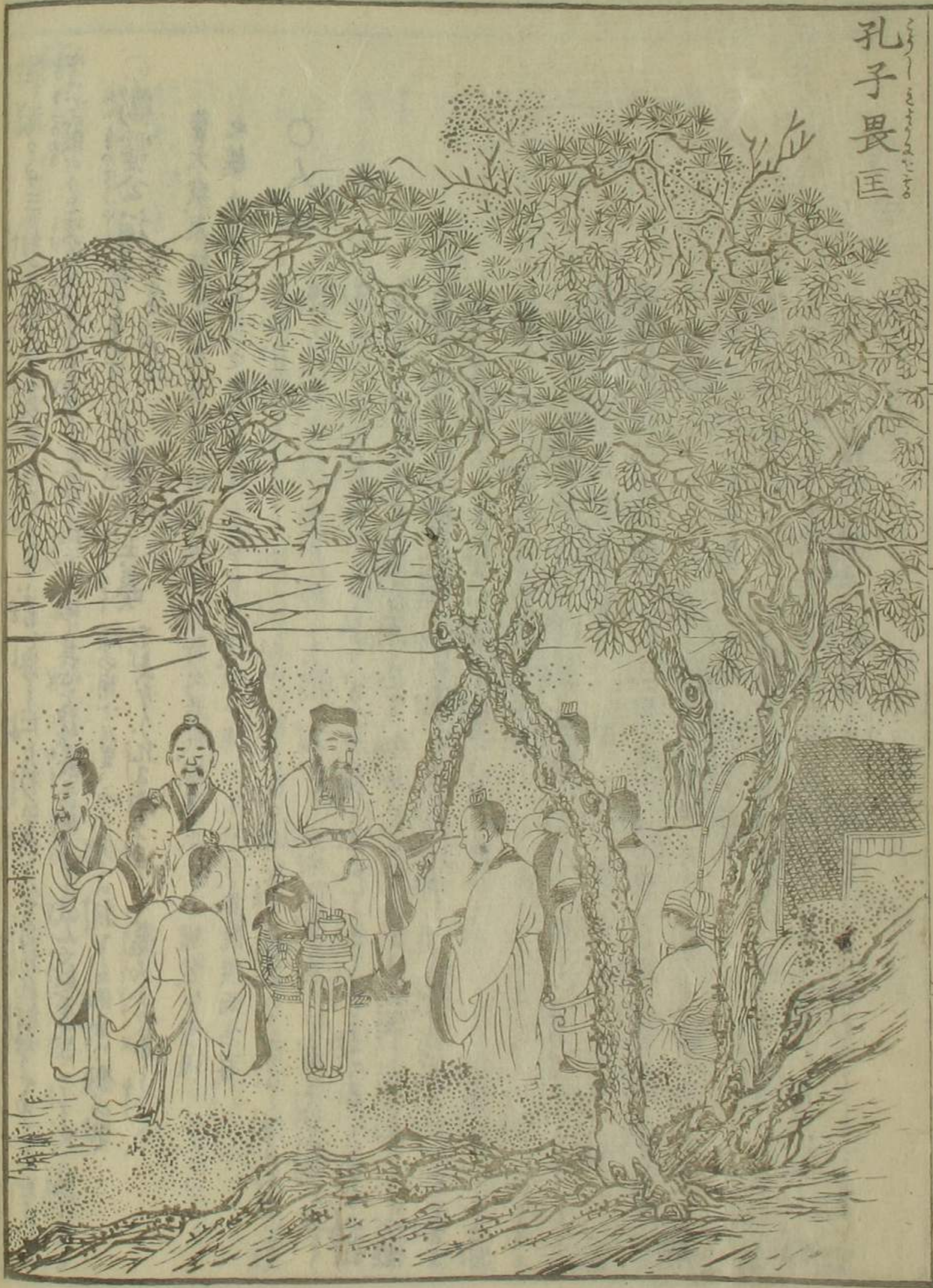


直隸

七名府

卷之六

孔子畏匡



直隸

大名府

子路死衛



子路死衛

州

附城の南二十里あり春秋の澠淵の地なり屬に秦の地なり漢に頓丘城の地と
 澠淵の地は屬に唐の澠州と在夏朝の中條とあり金に州と改む魏に二十里
 あり北に澠淵の地あり南に澠淵の地あり澠淵の地は屬に秦の地なり漢に頓丘城の地と

澠水

澠水 州の南二十里あり澠淵の地なり澠淵の地は屬に秦の地なり漢に頓丘城の地と
 澠水 州の南二十里あり澠淵の地なり澠淵の地は屬に秦の地なり漢に頓丘城の地と

○西湖 州の西南あり昔秋の湖水也
 ○御舟泉 州の南二十里あり漢の武帝乃附

○金堤 州の南二十里あり上の澠淵の地なり漢の武帝乃附
 州の南二十里あり上の澠淵の地なり漢の武帝乃附

○懸慢 州の南二十里あり上の澠淵の地なり漢の武帝乃附
 州の南二十里あり上の澠淵の地なり漢の武帝乃附

○後開慢 州の南二十里あり上の澠淵の地なり漢の武帝乃附
 州の南二十里あり上の澠淵の地なり漢の武帝乃附

○衛陽山 州の南二十里あり上の澠淵の地なり漢の武帝乃附
 州の南二十里あり上の澠淵の地なり漢の武帝乃附

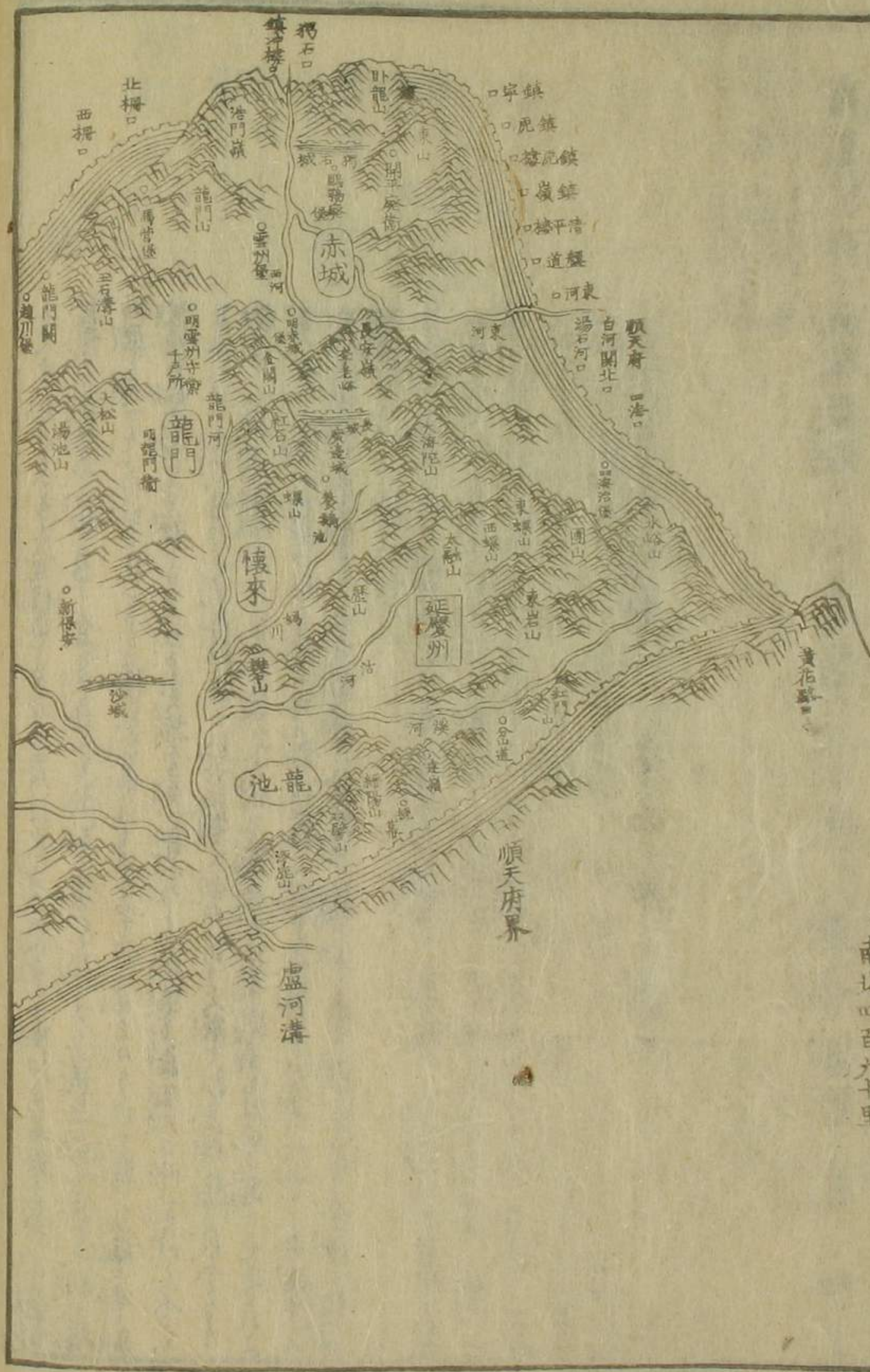
○秋山 州の南二十里あり上の澠淵の地なり漢の武帝乃附
 州の南二十里あり上の澠淵の地なり漢の武帝乃附

○朝綱山 州の南二十里あり上の澠淵の地なり漢の武帝乃附
 州の南二十里あり上の澠淵の地なり漢の武帝乃附

○終焉山 州の南二十里あり上の澠淵の地なり漢の武帝乃附
 州の南二十里あり上の澠淵の地なり漢の武帝乃附

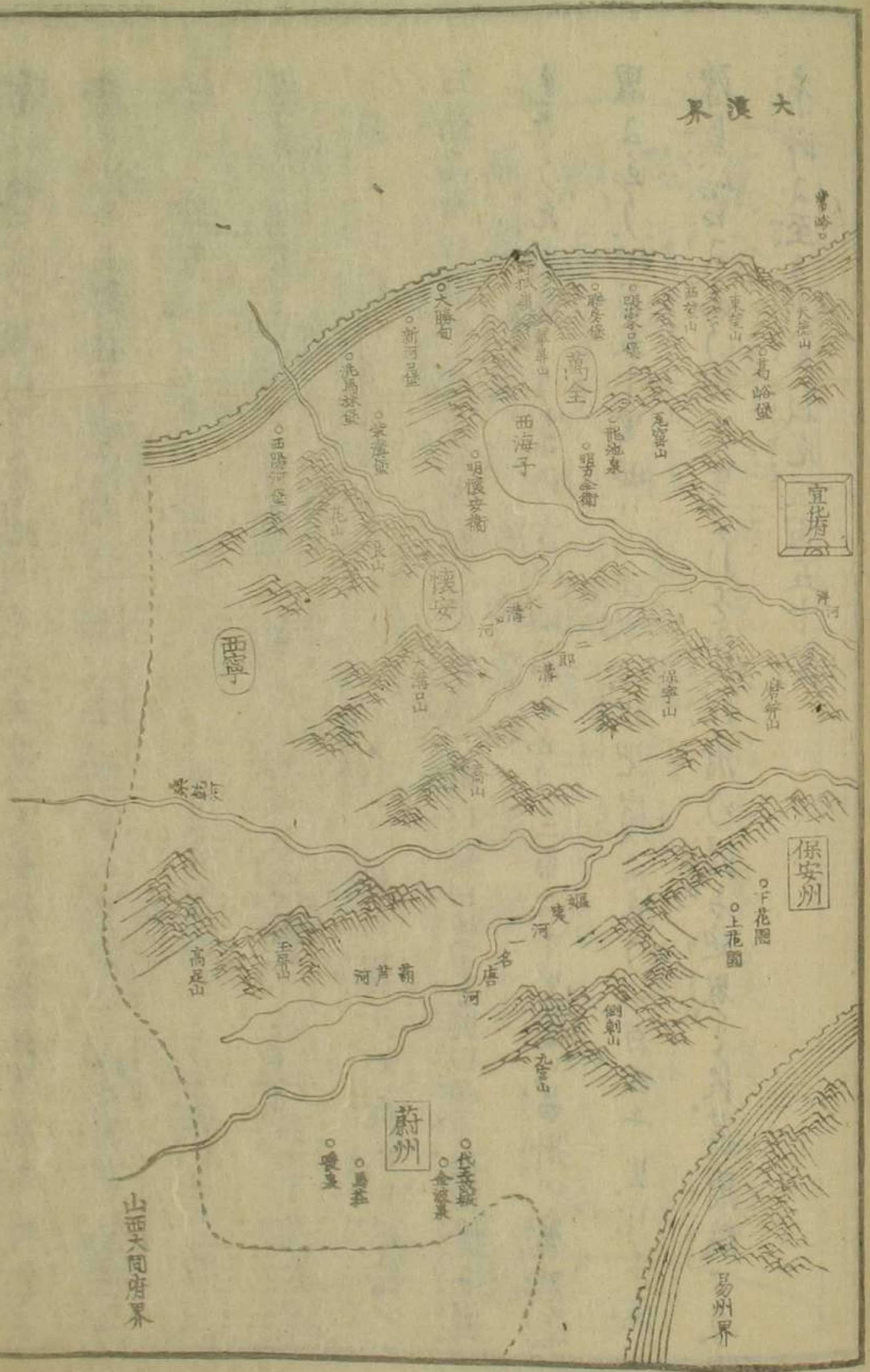
○金沙山 州の南二十里あり上の澠淵の地なり漢の武帝乃附
 州の南二十里あり上の澠淵の地なり漢の武帝乃附

宣化府總圖



宣化府 東西五百二十里
南北四百九十里

大漢界



直隸

宣化府

卷之六

翠屏山



五十四



直隸

宣化府

卷之六

螺山 螺の山十里あり。下は奉化寺あり。螺本森茂多く。民間で寶なり。

○大海陀山 螺の山三十里あり。高き百仞。龍潭あり。

養秋池 螺の山十里あり。池の深さ百仞。龍潭あり。

長城 螺の山九十里あり。唐の祖元中張詠を築くなり。

○度邊城 螺の山長城より九十里あり。同の邊城あり。

西寧縣

府城の西三百十里あり。漢の代郡陽原縣の地。後魏の代長安縣と改む。唐の太宗のとき西寧郡と改む。唐の太宗のとき西寧郡と改む。唐の太宗のとき西寧郡と改む。

懷安縣

府の西二百二十里あり。漢の美稹縣の地。唐の代懷安縣と改む。唐の太宗のとき懷安縣と改む。唐の太宗のとき懷安縣と改む。

水溝河

縣城の南より北に流る。水溝河の南より北に流る。水溝河の南より北に流る。水溝河の南より北に流る。

良山

縣の西十八里あり。山の高き百仞あり。良山の西十八里あり。山の高き百仞あり。良山の西十八里あり。山の高き百仞あり。

雲州堡

府の北二百十里あり。其の西南十八里あり。龍門山の堡の北二百十里あり。其の西南十八里あり。龍門山の堡の北二百十里あり。其の西南十八里あり。

同平廢堡

縣城の南より北に流る。同平廢堡の南より北に流る。同平廢堡の南より北に流る。同平廢堡の南より北に流る。

蔚州

府城の西南二百七十里あり。秦の代縣の地。漢の代蔚州と改む。唐の太宗のとき蔚州と改む。唐の太宗のとき蔚州と改む。

蔚蘆河

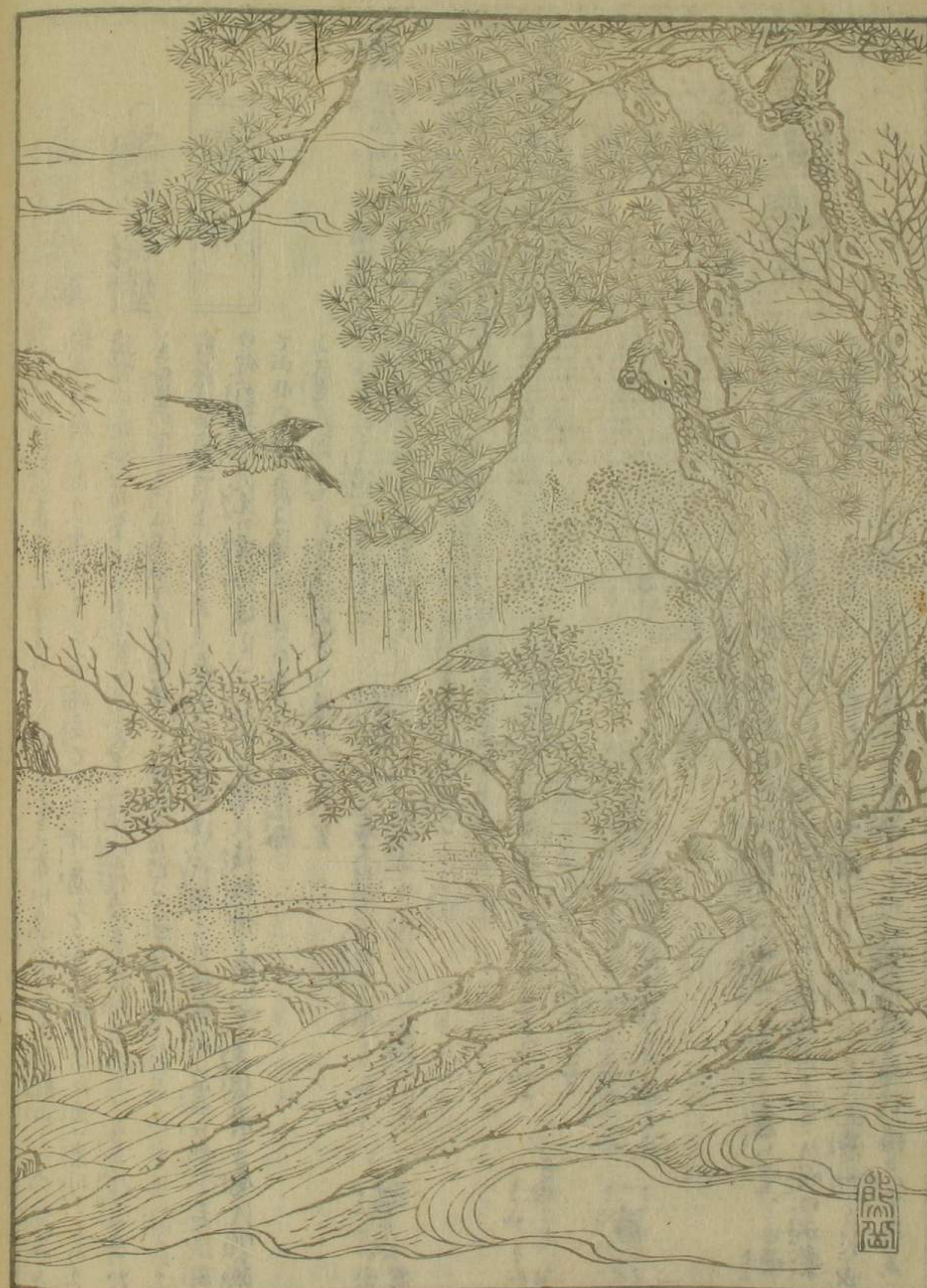
州城の北より南に流る。蔚蘆河の北より南に流る。蔚蘆河の北より南に流る。蔚蘆河の北より南に流る。

九宮山

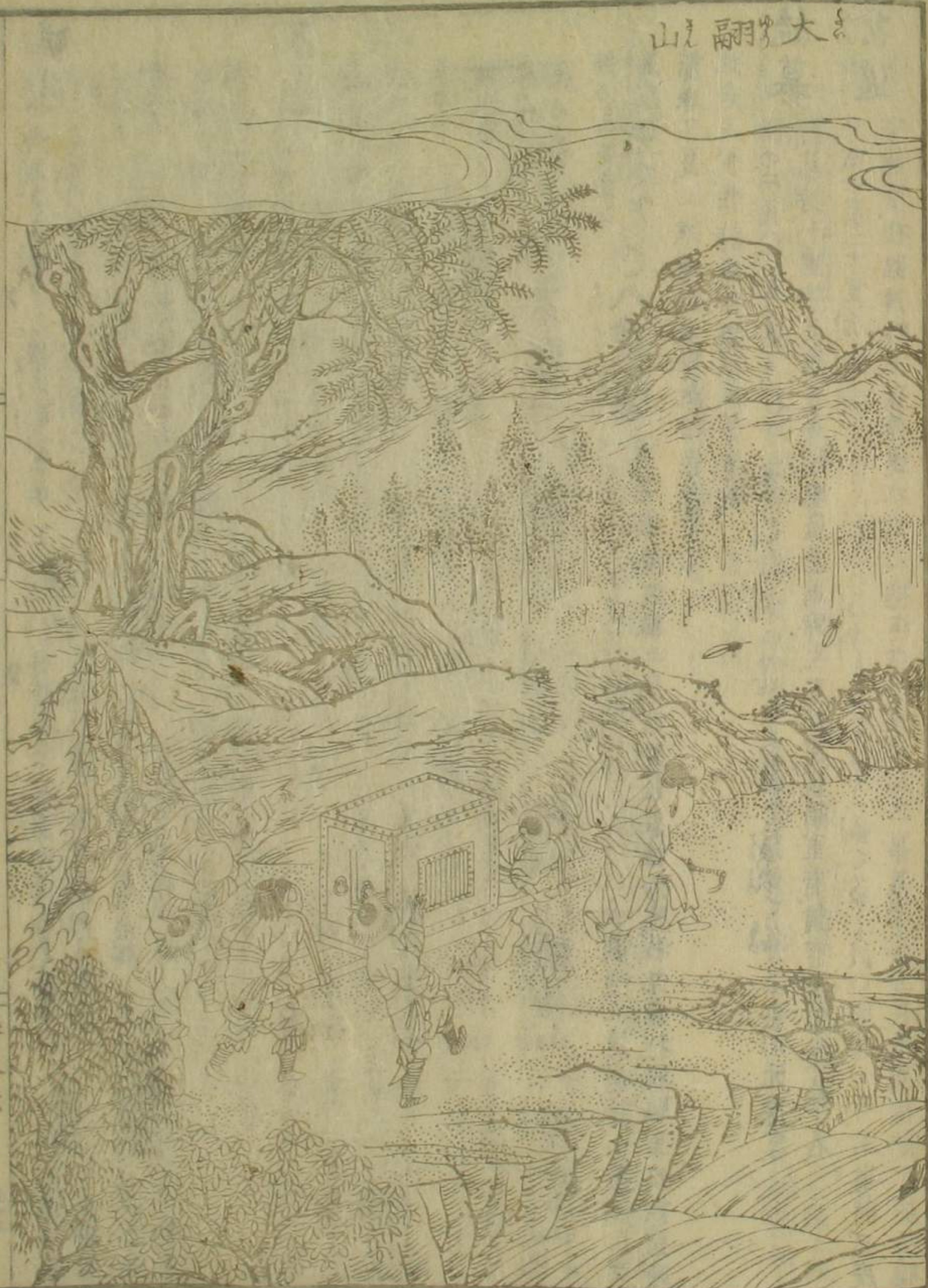
州の北三十里あり。今の臺の北九宮山の北三十里あり。今の臺の北九宮山の北三十里あり。今の臺の北九宮山の北三十里あり。

延慶州

府の東南三百十里あり。漢の代延慶縣の地。唐の太宗のとき延慶州と改む。唐の太宗のとき延慶州と改む。唐の太宗のとき延慶州と改む。



大翻山



媽川 卅界より流る。味末の東南。○漢河 卅の東三十里。○沽河 卅城の北

○洞河 卅城の北に流る。○龍灣河 卅の東三十里。○白龍潭 卅の東南

水原と別。○玉液泉 卅城の西南にあり。○大關山 卅城の北三十里。○石佛山 卅の西四十里

東山 卅の北十。○紅門山 卅の東南二十里。○大關山 卅城の北三十里。○石佛山 卅の西四十里

○八達嶺 卅の南三十里。○西螺山 卅の南四十里。○水峪山 卅の南五十里

○東螺山 卅の南六十里。○圍山 卅の南七十里。○鐫陽山 卅の南八十里

○八達嶺 卅の南三十里。○西螺山 卅の南四十里。○水峪山 卅の南五十里

○東螺山 卅の南六十里。○圍山 卅の南七十里。○鐫陽山 卅の南八十里

○八達嶺 卅の南三十里。○西螺山 卅の南四十里。○水峪山 卅の南五十里

○東螺山 卅の南六十里。○圍山 卅の南七十里。○鐫陽山 卅の南八十里

余情

保安州

府城の南九十里あり。秦の上谷郡の地。漢の涿郡と唐の涿州と改て永貞縣と

案の蘇轍が詩。北渡桑乾水欲結。心畏穹廬三尺雪。南渡桑乾風

和冰。開易水。應生波。卅城の西南四十里と流る。河と桑乾河との入る。涿河と名く。卅の北に流る。

○二郎溝 卅城の西南四十里あり。○龍池 卅の東南二十里あり。水地より湧出

○保寧山 卅の西四十里あり。○涿山 卅の南四十里あり。○高山 卅の南六十里あり

○涿山 卅の南四十里あり。○高山 卅の南六十里あり。○高山 卅の南六十里あり

○高山 卅の南六十里あり。○高山 卅の南六十里あり。○高山 卅の南六十里あり

○高山 卅の南六十里あり。○高山 卅の南六十里あり。○高山 卅の南六十里あり

里より山の上を帝の廟あり山頂燈は白大荒の内軒柱
數あり村者教く西二脚あり杖杖と數ありて即此なり
遊の華石の
たし極あり

上苑園 卅の西に
十里あり

下苑園 卅の西三十
里あり小池

直隸 遵化州

春秋文侯國の地漢の右平の境なり唐の遷化縣と名あり唐の遷化縣と名あり唐の遷化縣と名あり
婦と改ち順天府の薊州に屬し清順治にて州とす永平直隸に屬し縣二あり曰
玉田 蓟 豐 岡
蓟 編 戶 十二里

五里河

卅城の北五里あり源石河に合
流して卅の西南と流川と合

梨河

卅の西南と流して湯河に合又湯河は鮎矣に合又湯河は鮎矣に合

龍門

卅の南十里あり山向上に合下り用さる其間くあると云許懸崖
より水傾瀉して下る石橋て舟も多過ぎ難き所なり雷乃て

南龍山

卅の南八里あり山北に龍山と名あり
西山相射峻極く魁乃て

明月山

卅の西南十三里あり
また百餘仞石

夾山

西南二十里あり西山相射峻極く魁乃て
其狀如の峰なり

五峯山

卅の北二十里あり山又峯が安寂く山北相射峻極く魁乃て

葡萄山

卅の南三十里あり
山葡萄はなる

麻石臺山

卅の北十里あり山北に龍山と名あり
北に龍山と名あり

雲山

卅の北二十里あり

二臺山

卅の北二十里あり

大園亭山

卅の北二十里あり

馬蘭俗圃 ○大臺峯は
卅の北二十里あり

玉田縣

通化州の屬縣なり州の南薊州に屬し遷化州城の西二十里あり漢の五校縣の
遺蹟の付玉田縣城なり漢の陽廉伯とて稱此城なる城也

藍水

石河の陰流也凡そ南に流して龍潭に入る

先沙泉

縣の南漢の中より先沙泉と名あり

交鋒山

縣の北三十里あり山北に龍山と名あり

徐無山

縣の北三十里あり後漢の田疇を遺るなり

小泉山

縣の北二十里あり

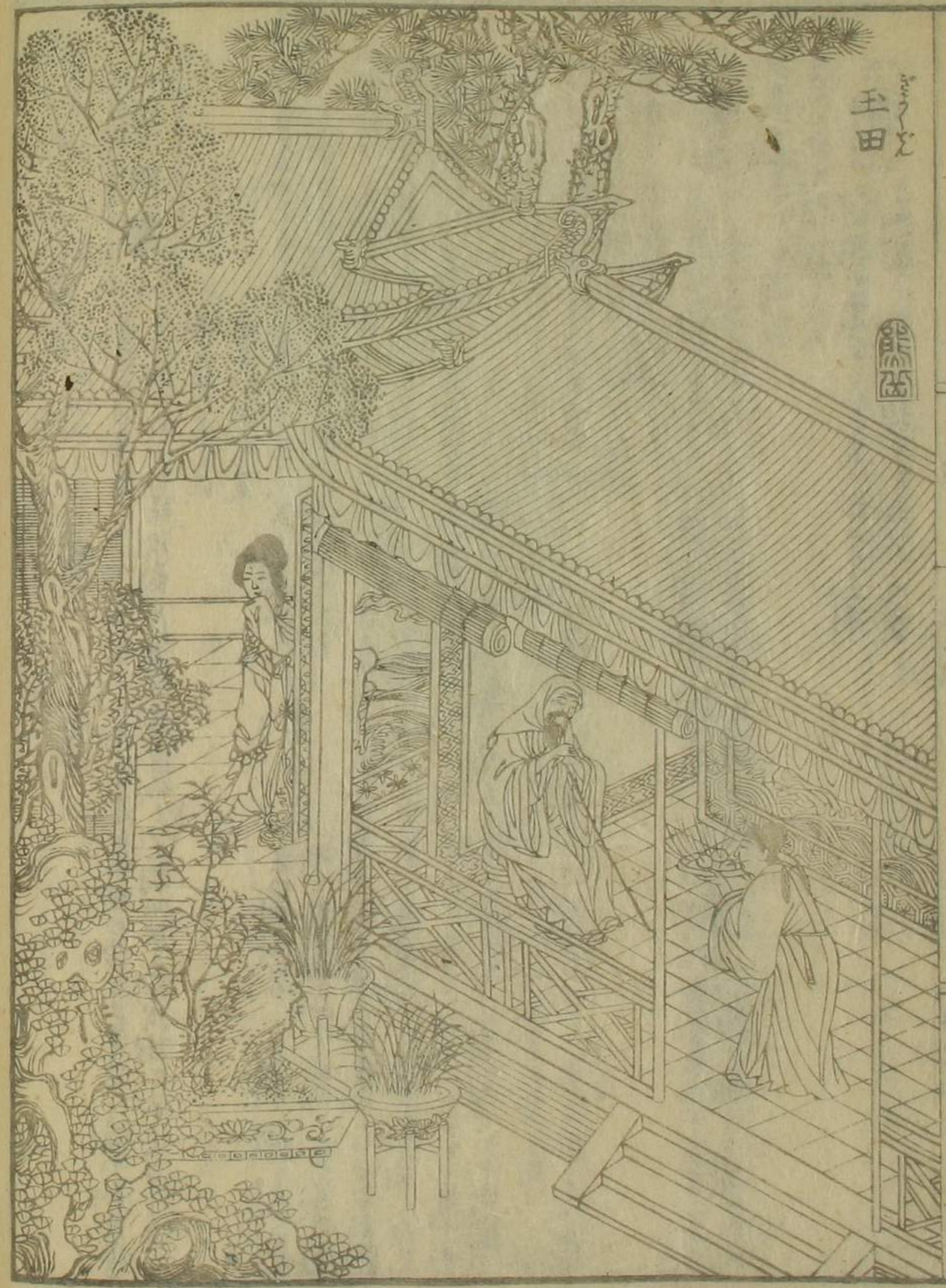
燕山

玉田縣の西二十里あり西山より一帯
に連なり百里海岸なる

西南の流

大臺峯の山の
のり合て龍潭に入る

玉田



○人物

漢の田疇は安撫の人々... 魏の田疇は安撫の人々... 魏の田疇は安撫の人々... 魏の田疇は安撫の人々... 魏の田疇は安撫の人々...

豊潤縣

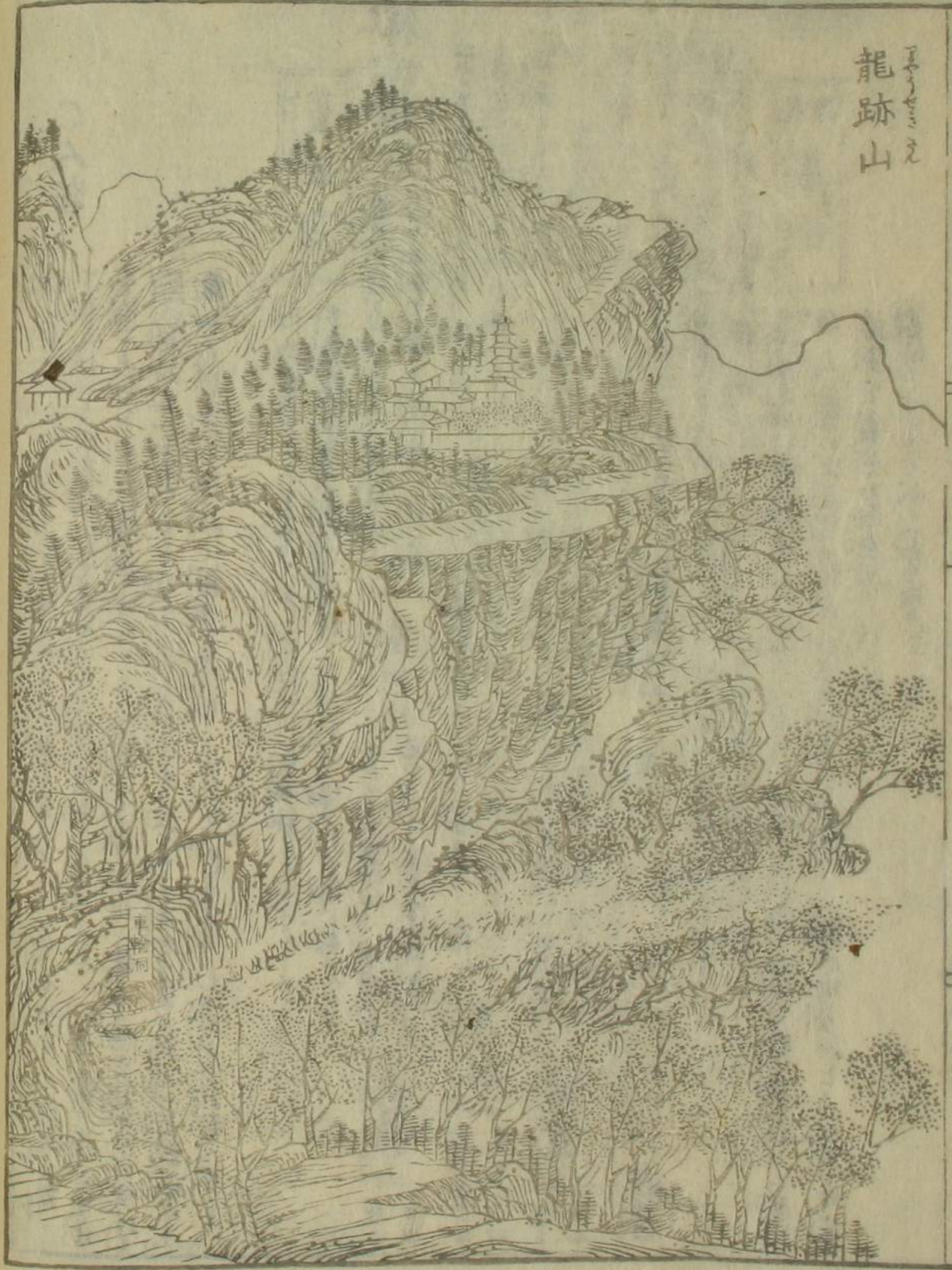
澤城鎮河

澤城鎮河 後漢の南八十里あり... 澤城鎮河 後漢の南八十里あり... 澤城鎮河 後漢の南八十里あり... 澤城鎮河 後漢の南八十里あり...

直隸易州

直隸易州 易州とせしむるは... 直隸易州 易州とせしむるは... 直隸易州 易州とせしむるは... 直隸易州 易州とせしむるは...

龍跡山



龍跡



直隸

易州

卷之六

水經云易水涿郡故安縣圖鄉城乃谷中より出

今州の西廣昌縣の界に入本流とて州城の北を流れて拒馬河と合流

○白濁河 州城の南三十里、水西山

○女思谷水 州の西南六十里、水女思谷

○雷溪 州の西南六十里、水雷溪

○五龍池 州城の西北六十里、水五龍池

○馬池 州の西南六十里、水馬池

○龍跡山 州城の西南三十里、水龍跡山

○紫荊山 州城の西南六十里、水紫荊山

○大寧山 州城の西南六十里、水大寧山

○駱牛山 州城の西南六十里、水駱牛山

○石獸岡 州城の西南六十里、水石獸岡

○樊籠山 州城の西南六十里、水樊籠山

○早月山 州城の西南六十里、水早月山

○石獸岡 州城の西南六十里、水石獸岡

○五迴山 州城の西南六十里、水五迴山

○紫荊山 州城の西南六十里、水紫荊山

○孔山 州城の西南六十里、水孔山

○大寧山 州城の西南六十里、水大寧山

○紫荊山 州城の西南六十里、水紫荊山

○駱牛山 州城の西南六十里、水駱牛山

○石獸岡 州城の西南六十里、水石獸岡

○樊籠山 州城の西南六十里、水樊籠山

○早月山 州城の西南六十里、水早月山

○石獸岡 州城の西南六十里、水石獸岡

○五迴山 州城の西南六十里、水五迴山

○紫荊山 州城の西南六十里、水紫荊山

○孔山 州城の西南六十里、水孔山

○大寧山 州城の西南六十里、水大寧山

○紫荊山 州城の西南六十里、水紫荊山

○駱牛山 州城の西南六十里、水駱牛山

○石獸岡 州城の西南六十里、水石獸岡

○樊籠山 州城の西南六十里、水樊籠山

○早月山 州城の西南六十里、水早月山

○石獸岡 州城の西南六十里、水石獸岡

○五迴山 州城の西南六十里、水五迴山

○紫荊山 州城の西南六十里、水紫荊山

○孔山 州城の西南六十里、水孔山

○大寧山 州城の西南六十里、水大寧山

○紫荊山 州城の西南六十里、水紫荊山

○駱牛山 州城の西南六十里、水駱牛山

○石獸岡 州城の西南六十里、水石獸岡

○樊籠山 州城の西南六十里、水樊籠山

○早月山 州城の西南六十里、水早月山

○石獸岡 州城の西南六十里、水石獸岡

○五迴山 州城の西南六十里、水五迴山

○紫荊山 州城の西南六十里、水紫荊山

○孔山 州城の西南六十里、水孔山

○大寧山 州城の西南六十里、水大寧山

○紫荊山 州城の西南六十里、水紫荊山

○駱牛山 州城の西南六十里、水駱牛山

○石獸岡 州城の西南六十里、水石獸岡

○樊籠山 州城の西南六十里、水樊籠山

武陽城

州城の南六十里、水武陽城。朝遊樊子館晚上武陽城。

五華樓

州城の南六十里、水五華樓。朝遊樊子館晚上武陽城。

黃金臺

州城の南六十里、水黃金臺。朝遊樊子館晚上武陽城。

三公臺

州城の南六十里、水三公臺。朝遊樊子館晚上武陽城。

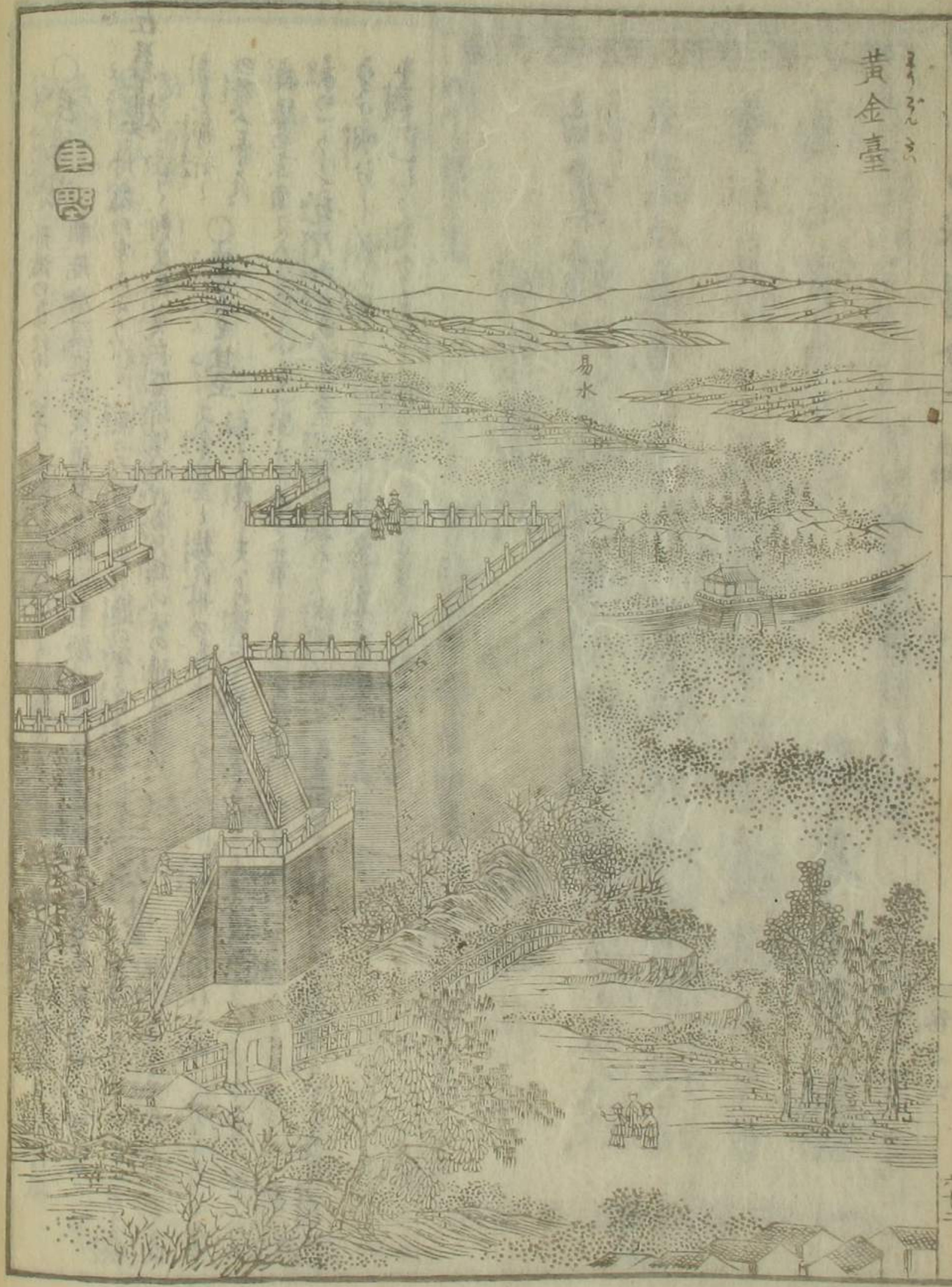
黃金臺詩

顧嗣立

伯業銷沈等劫反黃金照耀獨名臺
五國收燕地力借羣豪始郭隗豈獨一時能
雪耻直令千載感憐才於今蕩落風塵客
猶是紛紛向北東

登臺奉主人書

黃金臺



○荆軻滅荆軻の西に在るあり、荆軻、秦に入ると、易水に別れ、秦に討たれり。

友雲

燕丹善養士志在報強嬴招集百夫良歲暮得荆卿君子死知己
提劍出樊京素驥鳴廣陌慷慨送我行雄髮指危冠猛氣衝匹纓
飲饒易水上四座群英列漸離擊悲筑宋意唱高聲蕭蕭哀風折
冷寒波生商音更流涕羽奏壯士驚心知春不同且有後世名
登車何時顧飛蓋入秦庭凌厲越萬里遙遙過千城圖窮事自至
豪主正怔營惜哉劍術疏奇功遂不成其人雖已歿千載有餘清

右晉陶潛賦荆軻詩

泉州岼城宮清定書



易州

卷之六



李得成

水祥其戸を得たり法中者衆とて奉らば先派寺あり永樂の回改
西布政使とあり

慶陽縣

州の西百二十里あり了人の飛狐の地漢の慶陽縣と云流の飛狐原
と改む此後慶陽縣と改む蔚州に屬し唐初唐易州に屬し唐武宗
○古より飛狐の名山相傳ふ紫荆の嶺あり又樹松のまじりて食ひ花仙の
よまを治まると即此地を飛狐の嶺と云ふの原あり唐の魏徵が州より飛狐の
白石山 嶺の東南二十里あり山は白石なり其山は白石なり
○香山 嶺の西南十里あり古寺あり及松の栢
慈寧寺あり嶺中の飛狐と云ふ

鐵嶺

嶺の東二十里あり
○雕窟崖 嶺の東二十里あり
○登封山 嶺の西南百十里あり山麓
嶺松ありと云ふ

例馬關

直隸冀州

嶺の南七十里あり此地險峻
○李存孝廟 嶺の南二十里あり存孝の廟
正定府の東南二百八十里あり春秋晋の赤陽の地漢信都縣と云景帝の封
國と改む赤陽の地漢信都縣と云景帝の封國と改む赤陽の地漢信都縣と云
先明冀州を名て真定府に屬し唐初唐易州に屬し唐武宗の封國と改む
五南宮嶺あり河嶺あり赤陽縣あり赤陽縣あり赤陽縣あり赤陽縣あり

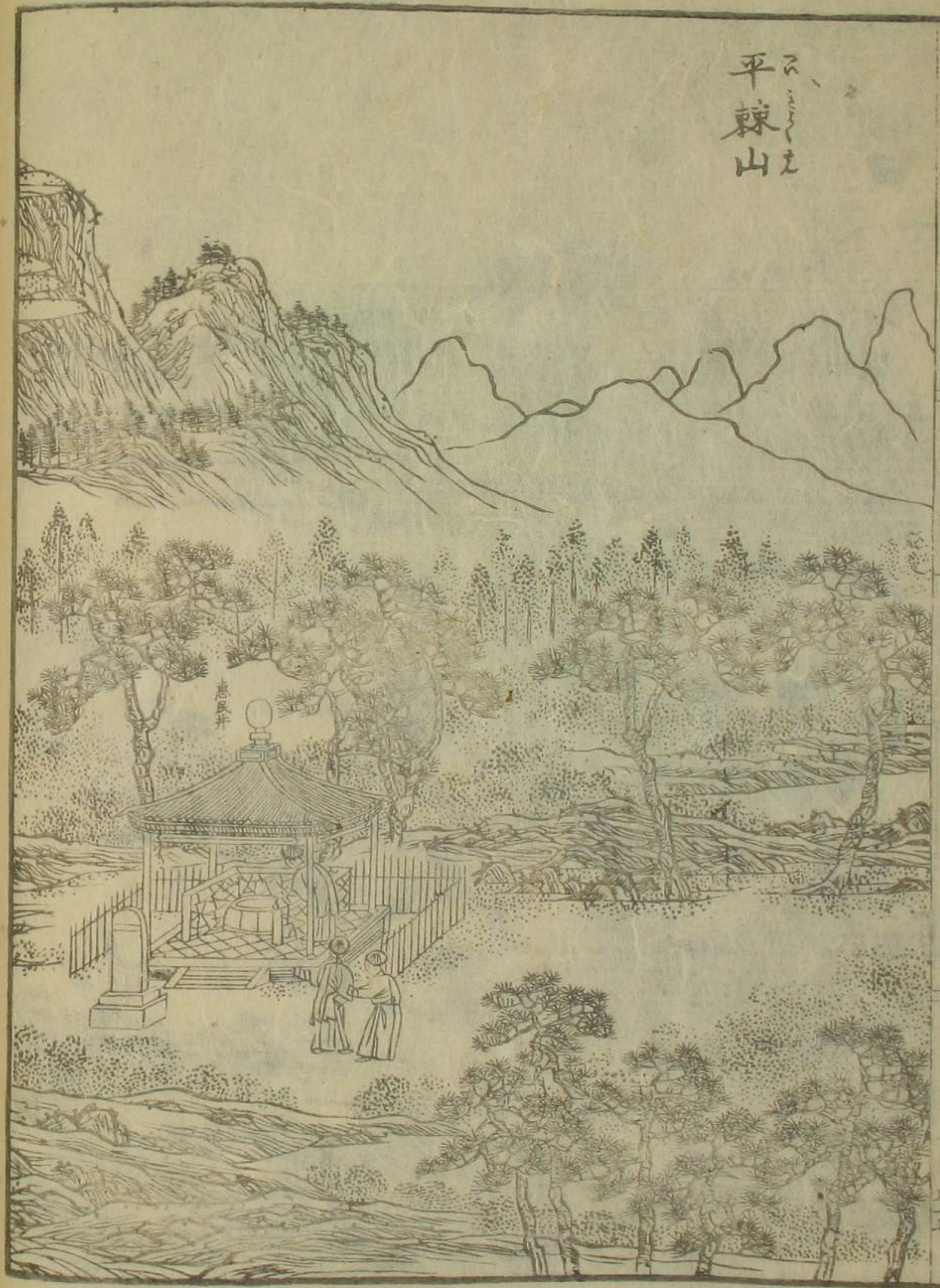
涿河 州の西也三十五里あり水山あり赤陽縣あり赤陽縣あり赤陽縣あり赤陽縣あり
○涿水 州の西也三十五里あり赤陽縣あり赤陽縣あり赤陽縣あり赤陽縣あり
○長蘆溝 州の西也三十五里あり赤陽縣あり赤陽縣あり赤陽縣あり赤陽縣あり

○紫微山 州の南也三十五里あり赤陽縣あり赤陽縣あり赤陽縣あり赤陽縣あり
○百尺樓 州の南也三十五里あり赤陽縣あり赤陽縣あり赤陽縣あり赤陽縣あり

馬廻臺



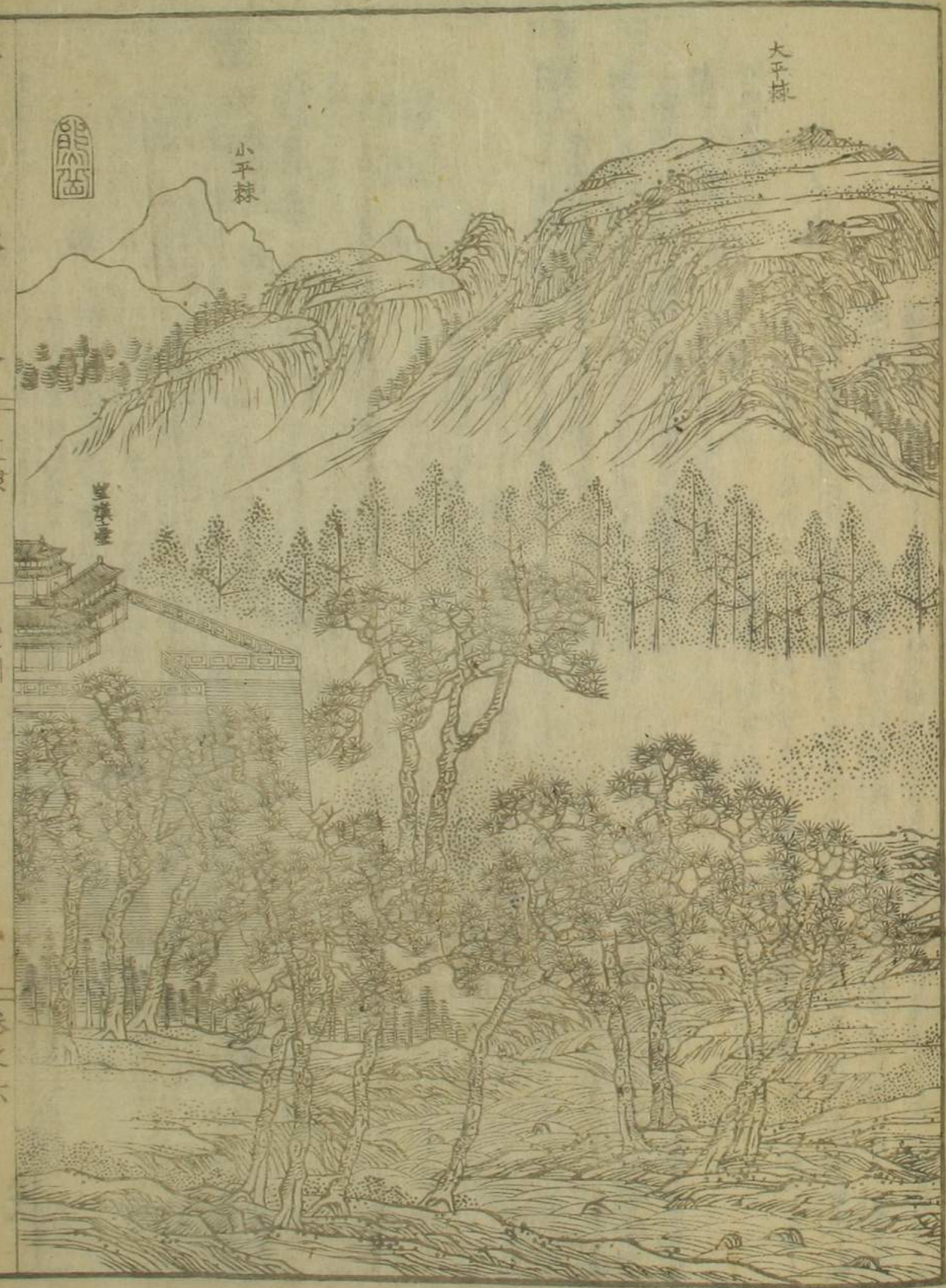
平棘山



惠民井

大平棘

小平棘

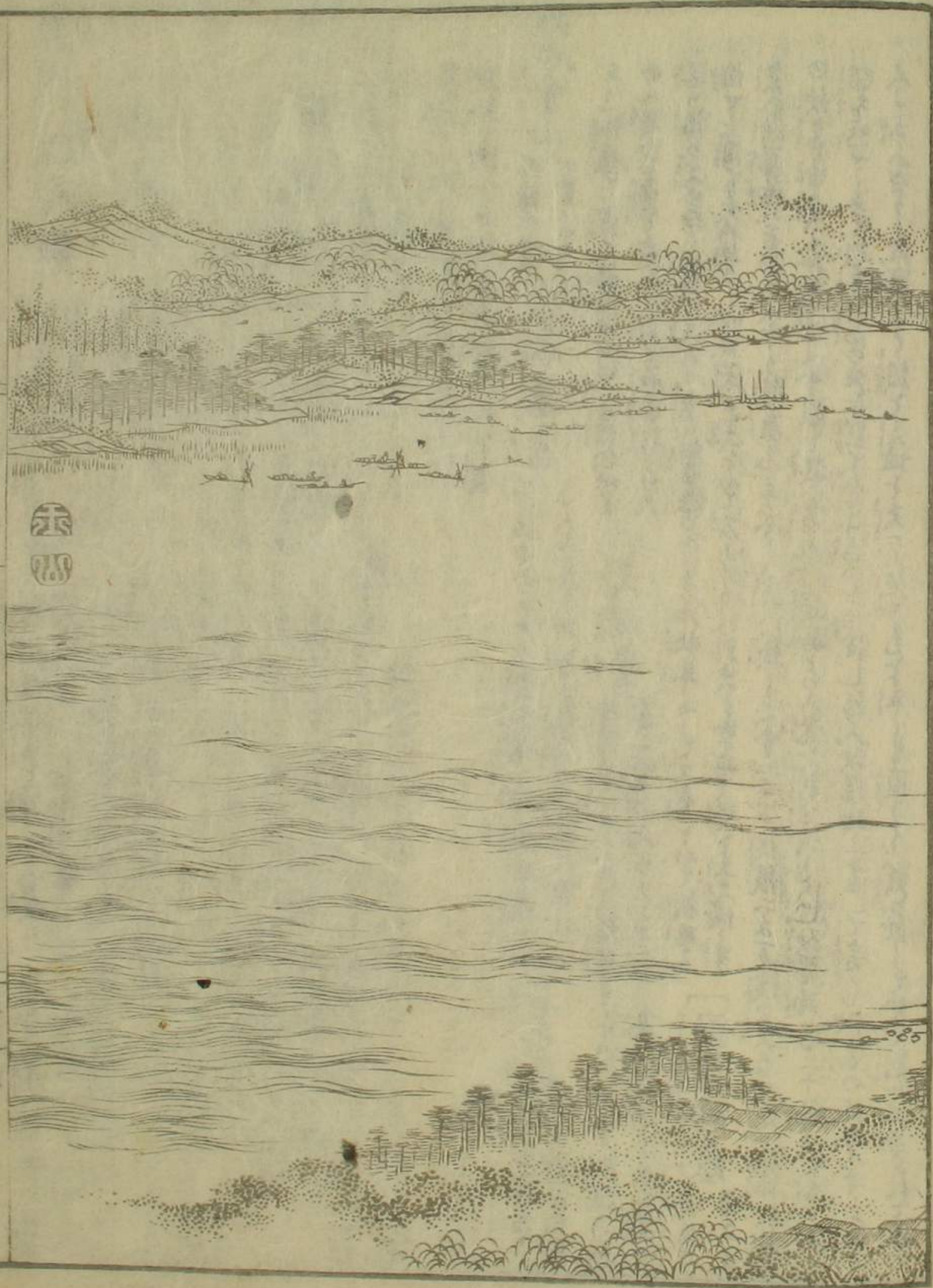
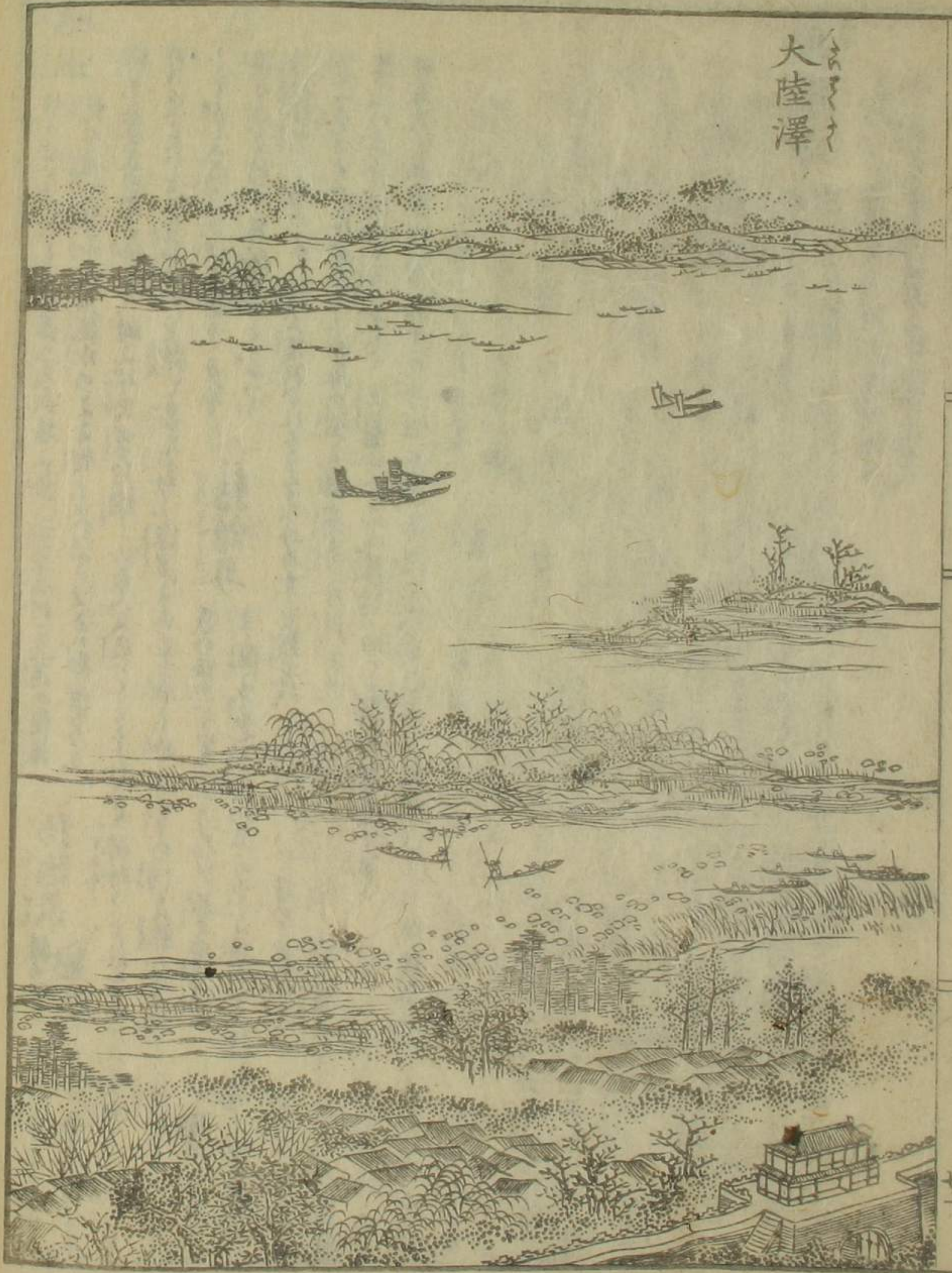


望遠臺

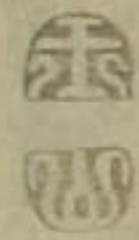
直隸

冀州

大陸澤



直隸



趙州

号以後魏の道武... 燕薨亭 ○麥飯亭

馬母廟

高王墓

人物

安平縣

礮石河

人物

人物

人物

漢の崔氏... 崔氏... 崔氏...

直隸定州

隋の文帝... 唐の崔氏... 崔氏...

今乃州城漢代の舊基... 漢の景帝の子...

國と号

王と稱

涿水

唐

陵山

雪浪齋

恒山
北嶽



恒山

直隸

定州

卷之六

恒山

劉石齡

寶符玄玉奠茲蒼有神上下扶坤乾曲陽飛石
 就禮祀虞舜不到恒山邊茲語荒怪誰所紀翠
 砥巖巖巖空磨鑄磁窰兩岸畫絕壁南有細運緣
 秋潭崖回水六三百丈巨石怒落隨奔泉幾年于
 此壘雲棧排空石竇鬼手穿餘村豕豕啗插山腹
 落藤蔓相鈎牽平生未嘗識劍客或謂蜀道
 險亦然剗劣萬仞試初步飛仙巖閣中霄懸
 常風一嘔去囊口捷牛飄墜輕鳥為渾雲

霧起林際垂龍麟尾方蜿蜒紫芝醜隱幽
 峪黃榆颯飛晴天中有仙人整驢樹根離
 折枝相連寒濤萬壑起松抄翠雪散落山
 亭荆夕陽晚霞段足幽眺丹竈夜光然通玄
 野人頗有濟膝具度越峻嶺如登仙俯視羣山盡
 臣庶太白巨粟差隨肩茫茫一氣舞龍寒索駝
 萬隊成蟻旋丈夫寧能死章句有名須勒狼胥巔
 此心未遂身老大投足巖岫老安便遍遊五岳自
 茲始俟昏嫁畢當何年 竹窓黃書冊圖

編述并圖畫 玉山 岡田友尚

圖畫 熊岳 岡 文暉

同 東野 大原民聲

校正并楷書 鳴門 荒井公廉

草書 叢玉堂 大邨安載

剗刷氏

一卷自首至尾 京都 井上治 兵衛

二卷自首至廿一 大坂 市田次郎兵衛

自廿二至尾 井上治 兵衛

三卷自首至尾 井上治 兵衛

四卷自首至四 大坂 池田長右衛門

自五至廿 京都 樋口源 兵衛

自廿一至卅 市田次郎兵衛

自卅一至尾 樋口源 兵衛

五卷自首至卅二 池田長右衛門

自卅三至尾 樋口源 兵衛

六卷自首至卅七 市田次郎兵衛

自卅八至尾 井上治 兵衛

京都書林

林、伊兵衛

著屋儀兵衛

須原屋茂兵衛

須原屋伊八

堀野屋仁兵衛

和泉屋庄次郎

永樂屋東四郎

江戸書林

尾陽書林

大坂書林

執賀屋九兵衛

河内屋喜兵衛

小刀屋六兵衛

河内屋太助

北村總七

河内屋吉兵衛

淺文貫上梓嗣出目錄

大阪心齋橋通北久太郎町南
書肆龍章堂 河內屋吉兵衛

唐土各勝圖會第二編

近刻嗣出

山東

濟南府 泰安府 武定府 兗州府 沂州府
曹州府 東昌府 青州府 來州府 登州府

山西

大原府 平陽府 蒲州府 潞安府 汾州府 澤州府
大同府 寧武府 朔平府 平定州 忻州 代州
保德州 解州 吉州 隰州 沁州 遼州等

河南

開封府 陳州府 歸德府 彰德府 衛輝府 懷慶府
河南府 南陽府 汝寧府 許州 陝州 光州
汝州等

江南

江寧府 蘇州府 松江府 常州府 鎮江府 淮安府
揚州府 徐州府 太倉州 通州 海州 安慶府

安徽

徽州府 寧國府 池州府 太平府 廬州府 鳳陽府
潁州府 六安州 泗州 和州 滁州 廣德州等

唐土各勝圖會第三編

近刻嗣出

福建

福州府 泉州府 建寧府 延平府 汀州府 興化府
邵武府 漳州府 福寧府 臺灣府 永春州 龍巖州等

浙江

杭州府 嘉興府 湖州府 寧波府 紹興府 台州府
金華府 衢州府 嚴州府 温州府 處州府

湖廣

武昌府 漢陽府 安陸府 襄陽府 鄖陽府
德安府 黃州府 荊州府 宜昌府 施南府

湖南

長沙府 岳州府 寶慶府 常德府 辰州府 沅州府
永州府 永順府 衡州府 澧州 桂陽州 靖州

江西

南昌府 九江府 南康府 饒州府 廣信府 撫州府
建昌府 瑞州府 臨江府 袁州府 吉安府 贛州府
南安府 寧都州等

唐土各勝圖會第四編

近刻嗣出

陝西

西安府 同州府 鳳翔府 漢中府 延安府 榆林府
商州 乾州 頌州 興安州 鄜州 綏德州

甘肅

蘭州府 平涼府 鞏昌府 慶陽府 寧夏府 西寧府
涼州府 甘州府 安西府 秦州 肅州 階州等

唐土名勝圖會

四川

成都府	寧遠府	保寧府	順慶府	敘州府	重慶府
夔州府	龍安府	潼川府	嘉定府	雅州府	敘永同知
資州	綿州	茂州	西陽州	忠州	
達州	眉州	邛州	瀘州等		
廣州府	韶州府	南雄府	惠州府	湖州府	肇慶府
高州府	廉州府	雷州府	瓊州府	連州	嘉應州
羅定州等					

唐土名勝圖會第五編

近刻嗣出

廣西

桂林府	柳州府	思恩府	慶遠府	泗城府	平樂府
梧州府	潯州府	南寧府	太平府	鎮安府	西隆州
鬱林州等					

雲南

雲南府	大理府	臨安府	楚雄府	澂江府	廣南府
順寧府	曲靖府	姚安府	鶴慶府	武定府	元江府
永昌府	開化府	鎮沅府	昭通府	永北府	

貴州

貴陽府	思州府	思南府	鎮遠府	石阡府	黎平府
安順府	南籠府	都勻府	平越府	大定府	遵義府

銅仁府

唐土名勝圖會第六編

大尾 近刻嗣出

盛京

奉天府 錦州府

盛京二府地治直隸永平府乃東之南之大海之距北黑龍江之接東南之朝鮮國之界之清朝の豊沛之今も殿閣寢陵珠玉相なつて五部尚書百官設ふこと一京師之松をじ第二編より五編まで十七道と歴舉し輿地の全圖をもちぬ斯編は是編編しつて吉林黑龍江喀爾喀扎薩克等邊塞に大緊と附記し唐土名勝圖會全部に一大首尾撃手應とせむ。

萬壽盛典圖會

全部六冊

近刻嗣出

一冊 康熙正誕圖

此書ハ康熙皇帝六十賀ふ皇子皇孫文武乃百官各々歌頌表奉り天下此萬民都來りて萬歳と祝をそと様紙畫圖著せしかり先暢春園より神武門に至るまでの法儀道を閑九二十里余もなり御々々線坊として色々錦或ハ五色此絹紙用之家せしやと廊と御は恒紙作り

燈棚と張百戲或雜役ききり馬駕と迎へて天教演拜し老人の道は左
 右に後より行幸は法供儀を以て時より諸皇子の大壇を建てる萬壽經とよか
 都は民の慶祝の劇場をかしき萬歳演壽と又道は左右より百老は圖儀
 儀は或は山海の珍物演獻上を綵廊より耕作の圖乃人形織縫の圖乃人形
 又農桑の事或は牡丹の蝴蝶葡萄の長亭かた儀もいひ遊もる儀に身
 五色の絹袴の錦を以て作る各々御製の詩一首を書き添へて
 是るを盛事かたを議ししき有様演畫圖よりつし承く後代も未
 んとけ其官板刻かたの萬壽盛典とよかるとよふし今刻も亦その
 圖會六冊其成本と以て翻刻し於てよく注釋儀かたをよとけ

盛京

皇天殿

唐土名勝圖會卷之六

水	久	油
越	村	堅
片	農	春
田	林	日
	野	早

